

Makita

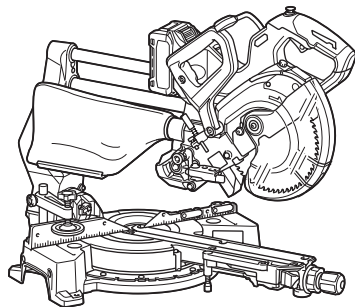
取扱説明書

充電式スライド マルノコ

190 mmモデル LS008G

165 mmモデル LS009G

LS008G



このたびは充電式スライドマルノコをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



もくじ

はじめに

主要機能	2
安全上のご注意	6
各部名称	18
標準付属品の確認	19
別販売品のご紹介	20

ご使用前の準備

設置	22
組み立て	23
バッテリー（別販売品）の充電	26
バッテリー（別販売品）の取り扱い	27
使用前に知っておいていただきたいこと	28

使い方

ノコ刃の取り付け／取りはずし方法	30
・取り付け／取りはずし共通の事前準備	30
バッテリーの取り付け／取りはずし方法	34
本製品の操作	35
・刃口板の調整	35
・ノコ刃の下限位決め調整	37
・角度切断の切断角度設定	39
・傾斜切断の切断角度設定	41
・材料の固定	44
・スイッチの操作	46
・ライトの使い方	47
・レーザーの使い方	48
・レーザーラインの合わせ方	49
・ミニサブフェンスの使い方	49
・サブテーブルの使い方	50
・ホルダ金具セット品(別販売品)、ホルダセット品(別販売品)の使い方	51
・切断方法	53
無線運動機能 (AWS)	61
使用後の取り扱い	72
・本製品のお手入れ	72
・レーザー発光部の清掃	73
・本製品の持ち運び	74

保守／点検

点検	76
調整	77
故障かな？と思ったら	84

はじめに

主要機能

LS008G

モデル	LS008G			
主要機能	DC ブラシレスモータ			
電動機	リチウムイオンバッテリー			
バッテリー (別販売品)	対応バッテリーの詳細は「別販売品のご紹介」を参照ください。			
電圧	直流 36 V (40 V max) ※ 1			
回転数	4,000 min ⁻¹ (回転 / 分)			
刃物寸法 (使用できるノコ刃)	外径 180 ~ 190 mm 内径 20 mm			
切断能力 (高さ×幅 : mm)	ノコ刃 角度 ターン ベース角度	左 45°	0°	右 45°
	0°	47 × 265 (25 mm) ※ 2	70 × 265 (25 mm) ※ 2	28 × 265 (25 mm) ※ 2
		41 × 312	62 × 312	24 × 312
	左右 45°	47 × 185 (20 mm) ※ 2	70 × 185 (20 mm) ※ 2	28 × 185 (20 mm) ※ 2
		41 × 220	62 × 220	24 × 220
	右 57°	—	70 × 140 (15 mm) ※ 2 62 × 170	—
注)・※ 2 印は、当て木を使用した場合の切断能力を示します。 ・カッコ内の数値は、使用する当て木の厚さを示します。 ・数値は、外径 190 mm のノコ刃を使用したときの値を示します。				
ターンベース 回転角度範囲	0° ~ 左 47° ~ 右 57°			
ノコ刃 傾斜角度範囲	0° ~ 左右 45° (46°切替レバー操作時 : 46°)			

※ 1 : 40 V max は満充電時のバッテリー電圧を表しています。

LS009G

モデル	LS009G			
主要機能	電動機			
	DC ブラシレスモータ			
バッテリー (別販売品)	リチウムイオンバッテリー			
	対応バッテリーの詳細は「別販売品のご紹介」を参照ください。			
電圧	直流 36 V (40 V max) ※ 1			
回転数	4,000 min ⁻¹ (回転 / 分)			
刃物寸法 (使用できるノコ刃)	外径 155 ~ 165 mm 内径 20 mm			
切断能力 (高さ×幅 : mm)	ノコ刃 角度 ターン ベース角度	左 45 °	0 °	右 45 °
	0 °	38 × 275 (20 mm) ※ 2	58 × 275 (20 mm) ※ 2	20 × 275 (20 mm) ※ 2
		34 × 312	51 × 312	15 × 312
	左右 45 °	38 × 190 (15 mm) ※ 2	58 × 190 (15 mm) ※ 2	20 × 190 (15 mm) ※ 2
		34 × 220	51 × 220	15 × 220
右 57 °	—	58 × 145 (10 mm) ※ 2 51 × 170	—	
注)・※ 2 印は、当て木を使用した場合の切断能力を示します。 ・カッコ内の数値は、使用する当て木の厚さを示します。 ・数値は、外径 165 mm のノコ刃を使用したときの値を示します。				
ターンベース 回転角度範囲	0 ° ~ 左 47 ° ~ 右 57 °			
ノコ刃 傾斜角度範囲	0 ° ~ 左右 45 ° (46 ° 切替レバー操作時 : 46 °)			

※ 1 : 40 V max は満充電時のバッテリー電圧を表しています。

製品の質量および寸法

■ LS008G

装着バッテリー	質量	本製品寸法 長さ × 幅 × 高さ
バッテリー無し	11.3 kg	649 mm × 418 mm × 507 mm
BL4025	12.0 kg	
BL4040	12.3 kg	

■ LS009G

装着バッテリー	質量	本製品寸法 長さ × 幅 × 高さ
バッテリー無し	11.2 kg	639 mm × 418 mm × 486 mm
BL4025	11.9 kg	
BL4040	12.2 kg	

バッテリーアダプタ類について

- ・ 本製品はバッテリーアダプタ類を使用できません。使用した場合、けがや事故の原因になります。

1 回の充電での作業量（参考値）

- ・ 数値は参考値です。
ストレッチの引金を最大に引き込んだ状態での値です。
ブレードの切れ味や切断する材料などにより異なります。

■ LS008G

使用バッテリー	材料	サイズ	切断量
BL4025	メラピ	高さ 50 mm × 幅 300 mm	約 115 本
	フローリング材	高さ 12 mm × 幅 300 mm	約 270 本
BL4040	メラピ	高さ 50 mm × 幅 300 mm	約 195 本
	フローリング材	高さ 12 mm × 幅 300 mm	約 435 本

■ LS009G

使用バッテリー	材料	サイズ	切断量
BL4025	メラピ	高さ 50 mm × 幅 300 mm	約 105 本
	フローリング材	高さ 12 mm × 幅 300 mm	約 270 本
BL4040	メラピ	高さ 50 mm × 幅 300 mm	約 170 本
	フローリング材	高さ 12 mm × 幅 300 mm	約 435 本

注

- ・ 予備のバッテリーを使用して連続作業をされる場合は、本製品を 15 分以上休止させてください。

安全上のご注意

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「充電工具」は、充電式（バッテリーパック式）の電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について


ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

: 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

充電式製品共通の安全上のご注意

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 充電工具、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
 - ・ 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
 - ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - ・ 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
 - 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
 - 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - バッテリーを本製品に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - 本製品を無理に押しつせず、常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。
8. 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているためやけどの恐れがあります。

⚠ 警告

充電工具の使用および手入れ

1. 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。
3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリーを本製品から抜いてください。
 - ・ 本製品の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの先端工具や付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 充電工具から離れるとき
 - ・ 本製品の受け渡し
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない充電工具、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 充電工具や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
 - ・ 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
 - ・ バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

⚠ 警告

バッテリーに関する安全事項

1. バッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
 - ・ スwitchがオンの位置にあるときにバッテリーを差し込むと事故につながります。
2. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・ 工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・ 本製品または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・ 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・ バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・ 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・ 発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリーに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. 分解・改造をしないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・ バッテリーを周囲温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発熱、発火の恐れがあります。
11. バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリーの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・ バッテリー内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
12. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
13. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
 - ・ 損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

⚠ 警告

14. 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
15. バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
 - ・ 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
 - ・ 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。
16. 使用中、使用後にバッテリーが熱くなることがあります。やけど、低温やけどの原因になるため注意してください。
17. バッテリーに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。
 - ・ 異常発熱によりやけどをしたり、発火、破裂または、作動不良によりけがに至る恐れがあります。

整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・ 本製品、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - ・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - ・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
 - <異常・故障例>
 - ・ 本製品やバッテリーが異常に熱い。
 - ・ 本製品やバッテリーに深いキズや変形がある。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ビリビリと電気を感じる。
 - ・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

⚠ 警告

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のもを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。
4. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ・ 爆発や火災の恐れがあります。
5. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを押し込まないでください。
 - ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
6. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
7. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
9. 正しく充電してください。
 - ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
 - ・ 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ ラベルに「発電機」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ 周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリーや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
 - ・ 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
10. 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
11. 充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。
 - ・ 誤動作や故障する恐れがあります。

⚠ 警告

12. 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

- 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

充電式スライドマルノコ安全上のご注意

先に充電工具としての共通の注意事項を述べましたが、スライドマルノコとして、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 安全カバーは絶対に固定したり取りはずしたりしないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
 - ・ ノコ刃が露出したままですとけがの原因になります。
2. ノコ刃は、銘板に表示してある範囲内のノコ刃を使用してください。
 - ・ けがの原因になります。
3. 切断する材料は、バイスで確実に固定して作業してください。
 - ・ 確実に固定していないと、けがの原因になります。
4. 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。
 - ・ このような台がないとけがの原因になります。
5. 使用中は、本製品を確実に保持してください。
 - ・ 確実に保持していないと、本製品が振れ、けがの原因になります。
6. 使用中は、ノコ刃や回転部、切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
7. 切断途中で、ノコ刃を回転させたまま本製品を戻そうとすると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。その場合、スイッチを切り回転が完全に止まってから本製品を持ち上げるようにしてください。
8. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理を申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
9. 誤って落としたり、ぶつけたときは、ノコ刃や本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
10. 破損や変形、また異常に摩耗した刃口板は、使用しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
11. アルミニウム、木材またはこれに類する材料以外のものを切断しないでください。
 - ・ 本製品の故障やけがの原因になります。
12. 使用中は、本製品に付属のダストバッグを装着するか、集じん機に接続してください。
 - ・ 切粉を吸い込むことがなく、衛生的に作業を行うことができます。
13. 切断する材料に適したノコ刃を使用してください。
 - ・ 本製品の故障やけがの原因になります。
14. 溝入れ加工のときは、取り除く部分の飛散などに注意してください。
 - ・ けがの原因になります。

⚠ 注意

1. 傾斜のない平坦な場所にすえ付けて、安定した状態にしてください。
 - ・ 不安定な状態だと、けがの原因になります。
2. 刃物類（ノコ刃など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
3. ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - ・ ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
4. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - ・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
5. 作業前に、人のいない方向にノコ刃を向けて空転させ、本製品の振動やノコ刃の振れなどの異常がないことを確認してください。
 - ・ 異常があるときが原因になります。
6. 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
 - ・ 強い反発力が生じ、けがの原因になります。
7. 材料に釘などの異常がないことを確認してください。
 - ・ 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
8. 切断しようとする材料の前方に手を置いたまま作業しないでください。
 - ・ 手を切ったり、感電の恐れがあります。
9. 回転するノコ刃で、充電器のコードを切断しないように注意してください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
10. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
 - ・ 材料や本製品などを落としたときなど、事故の原因になります。
11. 切断砥石を取り付けて使用しないでください。
12. レーザー光を直接のぞきこまないでください。（レーザー装備モデルの場合）
 - ・ レーザー光が目には直接当たると、目を傷める原因になります。
13. ライトの光を直接のぞきこまないでください。（ライト装備モデルの場合）
 - ・ 光が目には直接当たると、目を傷める原因になります。

ワイヤレスユニットの使用上のご注意

- ・ ワイヤレスユニットが集じん機に内蔵されている場合、ワイヤレスユニットは取りはずすことができません。無理に分解などして取り出さないでください。

⚠ 警告

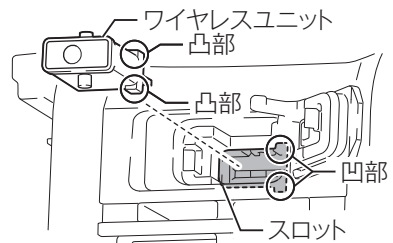
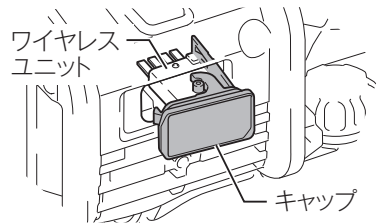
1. バッテリーが挿入されている状態で、工具からワイヤレスユニットを取りはずさないでください。故障の原因となります。
2. ワイヤレスユニットは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、ワイヤレスユニットを使用するときに無線局の免許は必要ありません。
3. ワイヤレスユニットを分解、改造しないでください。
4. ワイヤレスユニットを水にぬらさないでください。
5. ワイヤレスユニットは 50 °C を超える環境下で使用しないでください。
6. ワイヤレスユニットは精密機械です。強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
7. ワイヤレスユニットの金属端子を手や金属で触れないでください。
8. ワイヤレスユニットはマキタ製の無線連動対応した工具以外で使用しないでください。
9. 乳幼児の手の届く場所に置かないでください。誤って飲み込んだ際は、直ちに医師の診断を受けてください。
10. 静電気や電気ノイズが発生する場所で使用や保管をしないでください。
11. 車内など、高温になる場所や直射日光が当たる場所に置かないでください。
 - ・ 急激な温度変化は結露の原因になります。結露した場合は乾くまで使用しないでください。
12. 湿度の高い場所、ほこりや粉じんが多い場所、腐食性のガスが発生する所で使用や保管をしないでください。
13. ワイヤレスユニットを取りはずして保管する際は付属のケースまたは静電気対策された袋などに入れて保管してください。
14. 無線連動ボタンを必要以上に強く押ししたり、先端の尖ったもので押ししたりしないでください。
15. ワイヤレスユニットが汚れた際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品、接点グリスなどは使用しないでください。
16. 心臓ペースメーカーなどの医療機器の近くで無線連動機能を使用しないでください。
17. 自動制御機器などの近くで使用すると誤作動の恐れがあります。
18. 複数のワイヤレスユニットの機器登録は 1 台ずつ行ってください。
19. 機器登録済みのワイヤレスユニットを工具に取り付ければ、使用するたびに機器登録をする必要はありません。

⚠ 警告

20. 機器登録済みのワイヤレスユニットを取り付けた複数の工具をお使いの際は、無線連動機能を使用する工具以外は無線連動を OFF にしてください。
- 工具のスイッチを切っても集じん機が動き続けたり、不意に集じん機が動き出す原因になります。
21. 無線連動の有効距離は約 10 m です。ただし、工具と集じん機の間には障害物などがあると有効距離が短くなる場合があります。
22. 無線連動機能を使用する場合は、ご使用前に集じん機と工具が連動することを確認してください。
- 連動できない状態で使用すると、工具から漏れ出した粉じんを作業者が吸い込む恐れがあります。

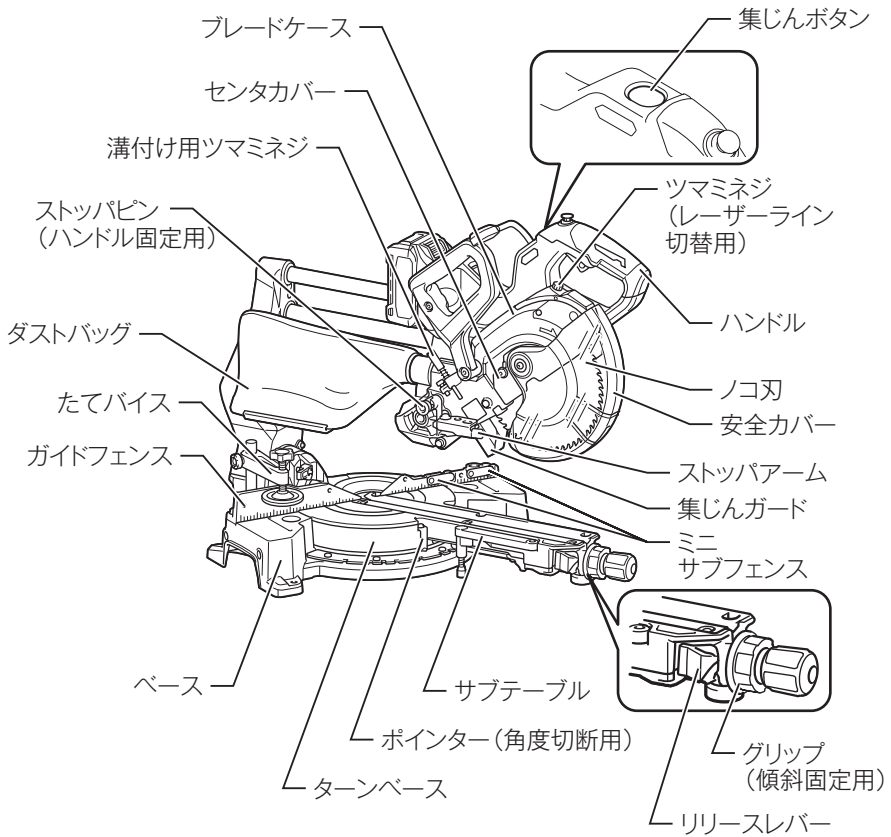
⚠ 注意

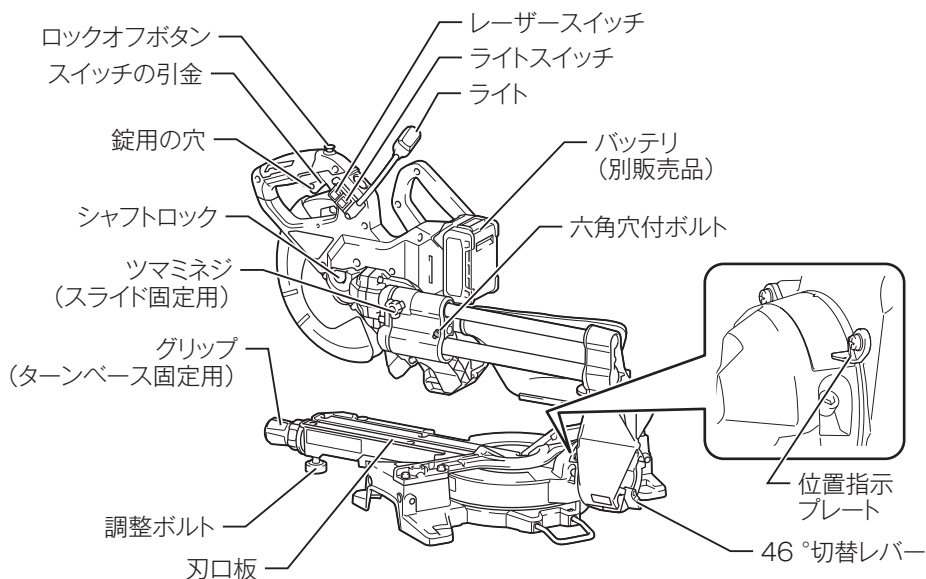
- ワイヤレスユニットの取り付け、取りはずしの際は必ずバッテリーを抜いてから行ってください。
- ワイヤレスユニットの取り付け、取りはずしの方法については使用する工具の取扱説明書を併せて参照してください。
- 工具側のキャップをあげる際、キャップ周辺に粉じんや水が付着していたときはきれいに取り除いてから、あけてください。
- スロットに粉じんや水が入らない環境で行ってください。もしスロットに粉じんや水が付着しているときは、きれいに取り除いてください。
- ワイヤレスユニットの凸部とスロットの凹部を合わせて取り付けてください。
- ワイヤレスユニットとスロットの形状が合わない向きで無理に押し込まないでください。
- キャップが開いた状態で使用しないでください。



※イラストは参考例です。製品によりスロットの位置、その他デザインが異なりますのでご了承ください。

各部名称





標準付属品の確認

標準付属品	モデル	LS008GZ	LS009GZ
バッテリー			×
充電器			×
鮫肌プレミアムチップソー 190 mm		○	×
鮫肌プレミアムチップソー 165 mm		×	○
たてバイス			○
六角棒スパナ 2.5			○
六角棒スパナ 5			○
三角定規			○
ダストバッグ			○

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

LS008G

- ・ ノコ刃

用途	外径 (mm)	刃数	部品番号
集成材・一般木材用	190	72	A-51611
一般木材用	190	72	A-44909
集成材・一般木材用	190	65	A-74354 ※
アルミサッシ用	190	60	A-19803

※ 標準付属品

LS009G

- ・ ノコ刃

用途	外径 (mm)	刃数	部品番号
集成材・一般木材用	165	64	A-50809
一般木材用	165	64	A-50762
集成材・一般木材用	165	60	A-69244 ※
アルミサッシ用	165	60	A-48474

※ 標準付属品

バッテリーおよび充電器

品目	品名	部品番号
使用可能バッテリー (容量)	◎ BL4020 (2.0Ah)	A-75823
	◎ BL4025 (2.5 Ah)	A-69923
	◎ BL4040 (4.0 Ah)	A-69939
	◎ BL4040F (4.0 Ah)	A-73841
	BL4050F (5.0 Ah)	A-72372
	BL4080F (8.0 Ah)	A-73368
対応充電器	DC40RA (急速充電器)	JPADC40RA
	DC40RB (2 口急速充電器)	JPADC40RB
	DC40WA (2 口充電器)	JPADC40WA
	DC40WB (充電器)	JPADC40WB

◎：使用推奨バッテリー

- ・ セフティゴーグル (保護メガネ)
部品番号：191686-2
- ・ フロア用補助ローラー
部品番号：A-46012
- ・ ミニ補助ローラー DX
部品番号：A-11259
耐荷重 2,500 N (255 kgf)
- ・ クイックミニ補助ローラー
部品番号：A-47450
耐荷重 800 N (82 kgf)
- ・ ホルダセット品
部品番号：196123-1
- ・ ホルダ金具セット品
部品番号：1912K1-9
- ・ ロッド 12
部品番号：256812-1
長尺材、幅広材の切断に便利です。
- ・ セットプレートアッセンブリ
部品番号：122472-0
材料の定寸切断に便利です。
- ・ ワイヤレスユニット (WUT01)
部品番号：A-66151
※無線連動機能を使うためには、
工具にワイヤレスユニットを取り
付ける必要があります。
- ・ ADP10
部品番号：A-69967
※充電器 DC40RA または DC40RB
に取り付けることでマキタ
14.4V/18V バッテリーの充電が可
能になるアダプタです。

ご使用前の準備

設置

本製品の設置

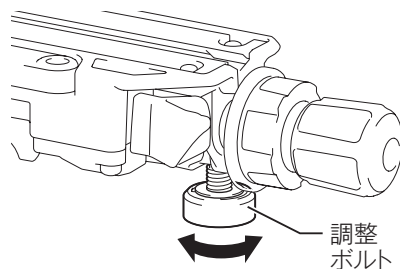
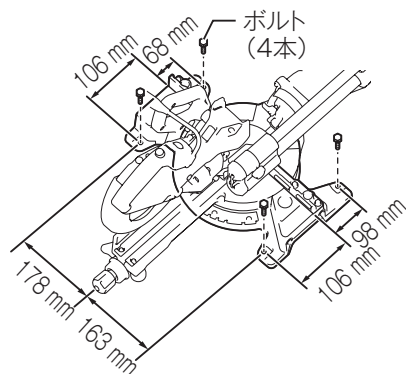
⚠ 警告

本製品が支持面上で動かないことを確認してください。切断中にノコ刃が動くと、制御を失いけがの原因になります。

- ・ 出荷時には本製品が下限位置に固定してあります。ハンドルを少し押さえながらストッパピン（ハンドル固定用）を操作してハンドルの固定を解除してください。
その後、ツマミネジ（スライド固定用）を操作してスライドの固定を解除してください
（ハンドルやスライドの解除・固定方法の詳細は 23、24 ページ参照）。

■ 設置方法

1. 傾斜のない平坦な場所に設置します。
より安定させるためには、ベースの穴を利用して4本のボルトで本製品を固定してください。
2. 調整ボルトを時計回りまたは反時計回りに回して、床面に接触させます。



組み立て

ハンドルの解除／固定方法

⚠ 注意

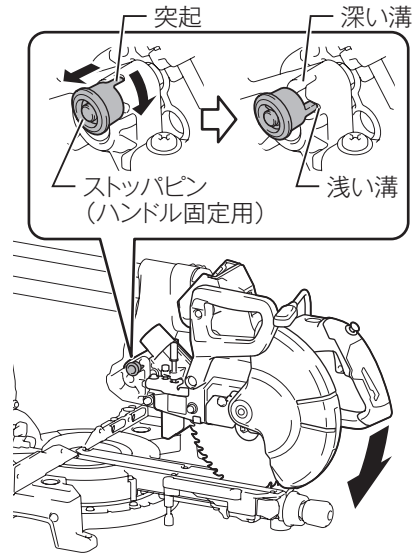
ストッパピン（ハンドル固定用）を操作するときは、常にハンドルを持つようにしてください。

- ・ ハンドルが跳ね上がり、けがの原因になります。

- ・ ハンドルはストッパピン（ハンドル固定用）を引きながら 90° 回すことで、解除および固定をすることができます。

■ 解除方法

- ・ ハンドルを少し下げたまま、ストッパピン（ハンドル固定用）の突起を浅い溝（左右の溝）に合わせます。



■ 固定方法

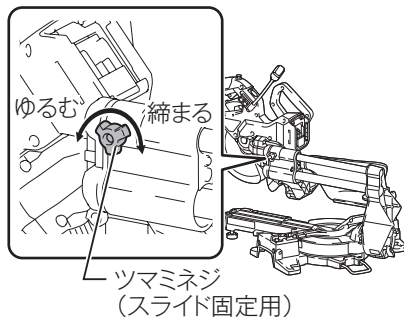
- ・ ストッパピン（ハンドル固定用）の突起を深い溝（上下の溝）に合わせます。

スライドの解除／固定方法

- ・ スライドはツマミネジ（スライド固定用）を回すことで、解除および固定をすることができます。

■ 解除方法

- ・ ツマミネジ（スライド固定用）を反時計回りに回し、ゆるめます。

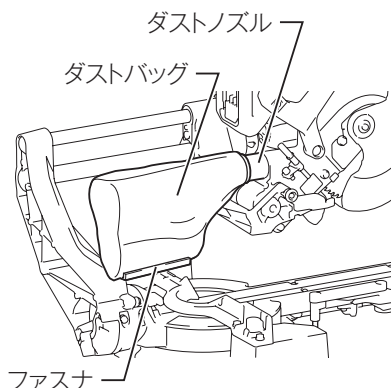


■ 固定方法

- ・ ツマミネジ（スライド固定用）を時計回りに回し、締め付けます。

ダストバッグの取り付け

- ・ ダストバッグをダストノズルに挿し込みます。
- ・ 掃除するときは、ダストバッグを取りはずしファスナを引き抜き、中の切粉を捨てます。ダストバッグは、口元を回しながら引き抜くとはずしやすくなります。
- ・ ダストバッグの代わりに、当社集じん機を使用すると、より衛生的な作業ができます。

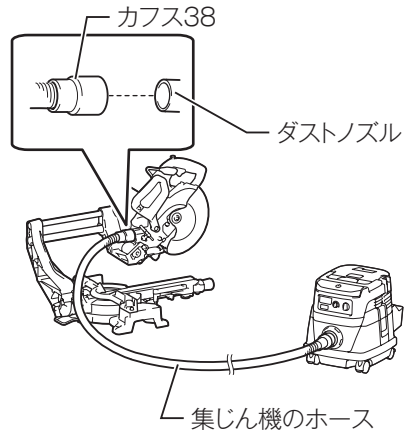


注

- ・ ダストバッグは早めに掃除してください。

集じんホース（別販売品）の取り付け

- ・ 集じん機付属のホースを取り付けて使用します。



■ ホースの内径がφ 19 の場合

- ・ 集じん機のホースを直接ダストノズルに取り付けてご使用ください。

■ ホースの内径がφ 28 の場合

- ・ 集じん機のホースにフロントカフス 38 を取り付け、ダストノズルに接続してご使用ください。

■ ホースの内径がφ 38 の場合

- ・ 集じん機のホースを直接ダストノズルに取り付けてご使用ください。

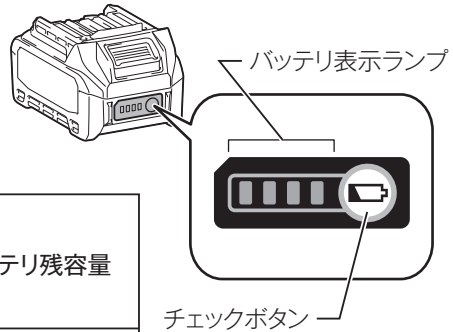
注

- ・ ホース 28（別販売品）には工具接続用にフロントカフス 22 と 38 を同梱しています。ダストノズルの口サイズに合ったカフスを取り付けてご使用ください。
- ・ 使用する集じん機やホースの種類によっては、集じんガードによって集じん口が塞がってしまい、集じんできなくなる場合があります。その際は、集じん機の吸込み力を調整してください。

バッテリー（別販売品）の充電

バッテリー残容量表示

- ・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。



バッテリー表示ランプ	バッテリー残容量
■:点灯 ▨:点滅 □:消灯	
■ ■ ■ ■	75 % - 100 %
■ ■ ■ □	50 % - 75 %
■ ■ □ □	25 % - 50 %
■ □ □ □	0 % - 25 %
▨ □ □ □	充電してください。
■ ■ □ □ □ □ ▨ ▨ ↓ ↑	バッテリーの異常 です。

注

- ・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
- ・ バッテリー保護機能が働いた際は、左端のバッテリー表示ランプが点滅します。

バッテリーの充電方法

- ・ お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って充電を実施してください。

バッテリー（別販売品）の取り扱い

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは本製品または充電器からバッテリーを抜いて保管してください。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



Li-ion

リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

充電器の点検・修理・保管方法

- ・ お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って実施してください。

使用前に知っておいていただきたいこと

本製品およびバッテリーの保護機能

本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものです。

保護機能
<ul style="list-style-type: none"> 本製品およびバッテリーの温度が高温になるとモータが自動停止します。 <ul style="list-style-type: none"> 使用を中断して本製品よりバッテリーを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。 バッテリーを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。
<ul style="list-style-type: none"> バッテリーの容量が少なくなるとモータが自動停止します。 <ul style="list-style-type: none"> 本製品よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。
<ul style="list-style-type: none"> 本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。 <ul style="list-style-type: none"> いったんスイッチを放し、本製品よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。

- 上記以外の症状で停止した場合、「故障かな?と思ったら」(84 ページ参照)に従って点検してください。

各種機能

■ 定回転制御

- 作業中負荷がかかっても工具の回転数が下がりにくく、回転数を維持するので高い作業性が得られます。

■ ソフトスタート

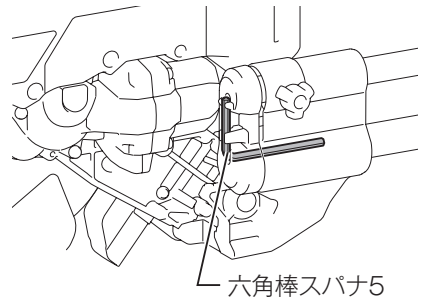
- スイッチを入れたとき、反動を抑えスムーズに回転しはじめます。

■ ブレーキ機能

- スイッチを切ると、電氣的に回転を止めます。ただし、バッテリーの残容量が無くなったり、スイッチを入れたままバッテリーを抜いたりした場合は機能しません。

六角棒スパナ 5 の収納位置

- ・ 付属の六角棒スパナ 5 は図に示す位置のスパナホルダに収納されています。



使い方

ノコ刃の取り付け／取りはずし方法

⚠ 警告

ノコ刃の取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切りバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを差したまま行くと事故の原因になります。

⚠ 注意

ノコ刃を取り付けるときは、本製品に付いている矢印とノコ刃に付いている矢印の方向を合わせてください。

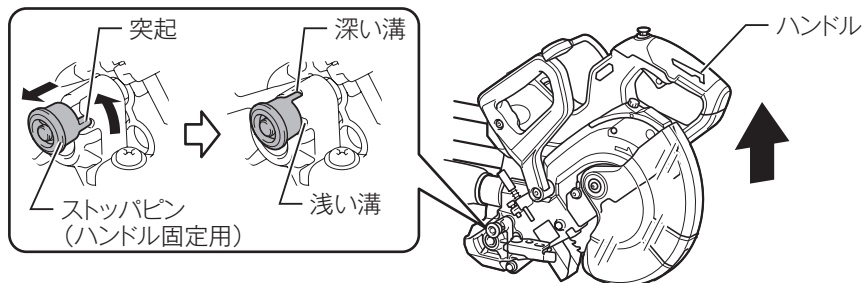
- ・ 矢印に合わせないと、ノコ刃の回転方向が逆回転となり、刃先を傷めたり、けがの原因となります。

ノコ刃の着脱は付属の六角棒スパナ 5 以外の工具は使わないでください（六角棒スパナ 5 収納位置は 29 ページ参照）。

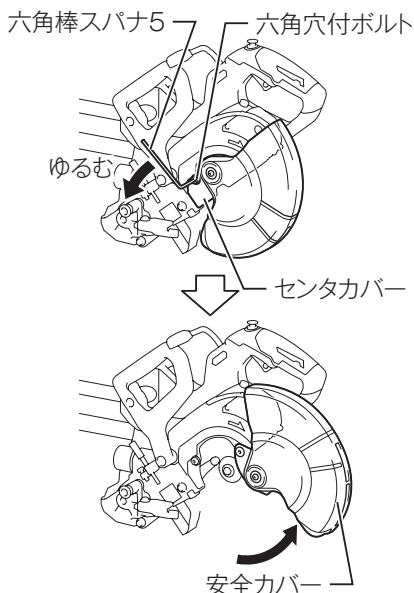
- ・ 締め過ぎや締め付け不足となり、けがの原因となります。

取り付け／取りはずし共通の事前準備

1. ハンドルが上がった位置で、ストッパピン（ハンドル固定用）を操作し、ハンドルが下がらないように固定します（詳細は 23 ページ参照）。

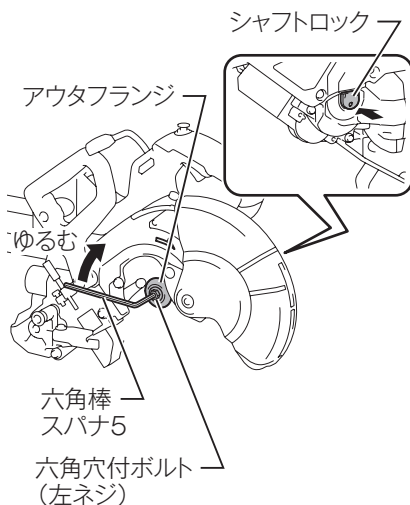


2. センタカバーを固定している六角穴付ボルトを付属の六角棒スパナ5でゆるめます。
3. センタカバーを開き、安全カバーを持ち上げます。



取り付け方

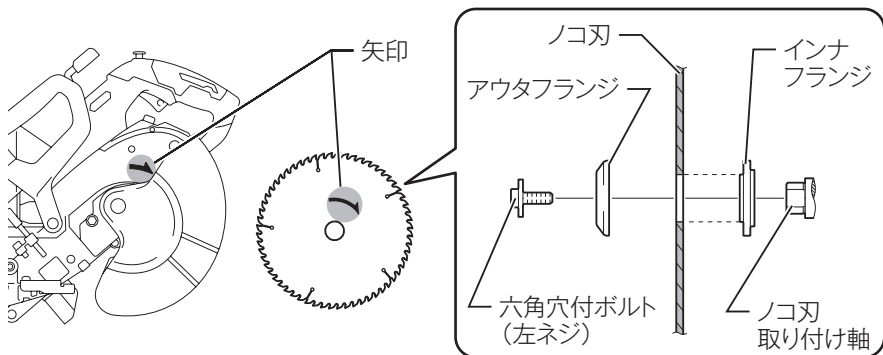
- ・ 製品によっては、工場出荷時にノコ刃が装着されている場合があります。
 - ・ ノコ刃を取り付ける前に「取り付け／取りはずし共通の事前準備」(30 ページ)の作業を完了しておいてください。
1. 六角穴付ボルト (左ネジ) に付属の六角棒スパナ5を挿し込み、シャフトロックを押し込みながら時計回りに回してゆるめ、六角穴付ボルト (左ネジ)、アウトフランジをはずします。



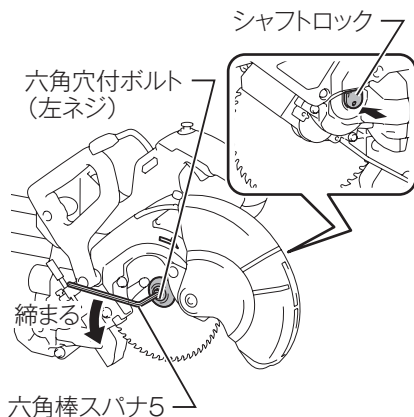
2. ブレードケースの矢印とノコ刃の回転方向を合わせて、ノコ刃取り付け軸にインナフランジ※→ノコ刃→アウトフランジ→六角穴付ボルト（左ネジ）の順に取り付けます。

注

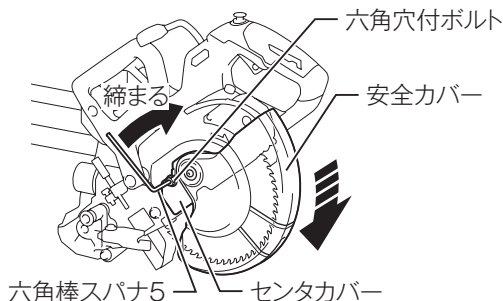
- ・ ※インナフランジがはずれることがあります。忘れずに取り付けてください。



3. 六角穴付ボルト（左ネジ）に付属の六角棒スパナ5を挿し込み、シャフトロックを押し込みながら反時計回りに回して、六角穴付ボルト（左ネジ）をしっかりと締め付けます。



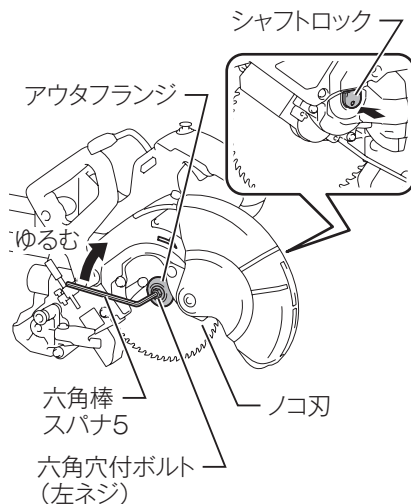
- 安全カバーを元の状態に戻し、センタカバーを六角穴付ボルトでしっかり固定します。



- ストップピン（ハンドル固定用）を操作し、ハンドルの固定を解除します（詳細は 23 ページ参照）。
- ハンドルを下げて、安全カバーが正常に作動することを確認します。
 - 安全カバーはハンドルを下げると自動的に上がり、ハンドルを上げると元に戻ります。

取りはずし方

- ノコ刃を取りはずす前に「取り付け／取りはずし共通の事前準備」（30 ページ）の作業を完了しておいてください。
- ノコ刃を締め付けている六角穴付ボルト（左ネジ）に付属の六角棒スパナ5を挿し込み、シャフトロックを押し込みながら時計回りに回してゆるめ、六角穴付ボルト（左ネジ）、アウトフランジ、ノコ刃をはずします。



注

- 取りはずしたアウトフランジと六角穴付ボルトは紛失しないように注意してください。

バッテリーの取り付け／取りはずし方法

⚠警告

本製品にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

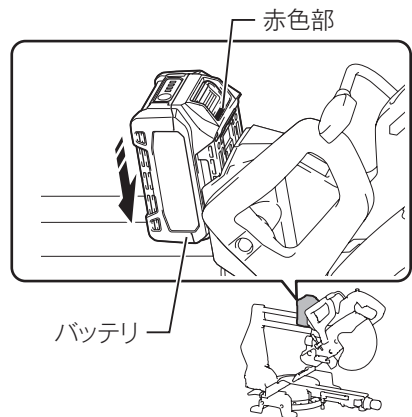
- ・ スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。

バッテリーは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

- ・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

取り付け方

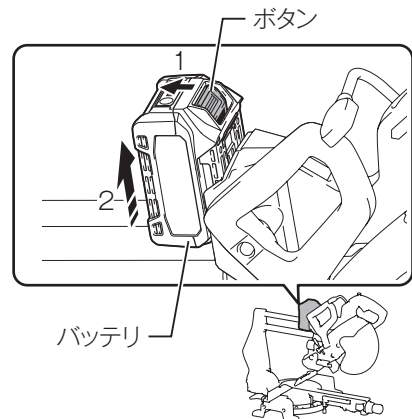
- ・ バッテリーを本製品の溝に合わせ、赤色部が見えなくなるまで差し込みます。



※イラストはBL4025の取り付け例です。

取りはずし方

- ・ バッテリーのボタンを
 1. 矢印方向に押しながら
 2. 引き出します。



※イラストはBL4025の取り付け例です。

本製品の操作

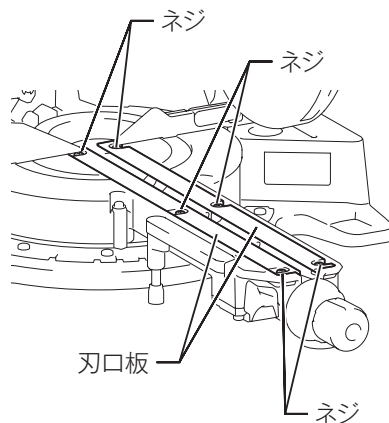
刃口板の調整

⚠ 警告

刃口板の調整の際は、必ずスイッチを切りバッテリーを抜いてください。

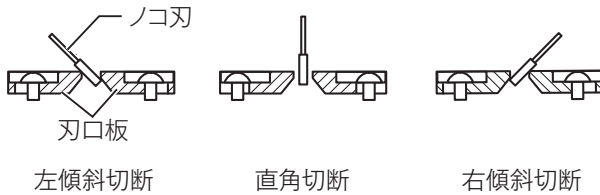
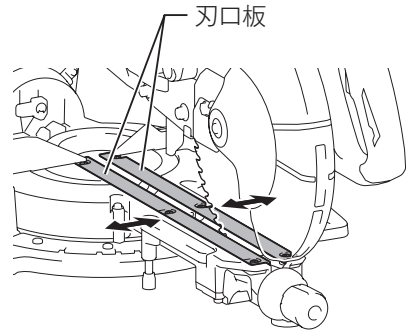
- ・ バッテリーを差したまま行くと事故の原因になります。

1. 刃口板を固定しているネジ（左右各3本）をゆるめ、刃口板が手で容易に動く程度に締め直してください。



2. ハンドルを完全に下げた状態でストッパピン（ハンドル固定用）を操作し、ハンドルを固定します（詳細は23ページ参照）。
3. ツマミネジ（スライド固定用）を反時計回りに回してゆるめ、スライドの固定を解除します（詳細は24ページ参照）。
4. 本製品を手前側いっぱいまで引き出します。

- 刃口板をノコ刃の刃先側面に近づけるように調整します。



- 手前側のネジを仮締めします。
- 本製品をガイドフェンス側いっぱいまで押し、刃口板がノコ刃の刃先側面に近づけるように、刃口板を調整します。
- 後ろ側のネジを仮締めします。
- 刃口板の調整後、ストッパピン（ハンドル固定用）を操作してハンドルの固定を解除し、ハンドルを上げます（詳細は23ページ参照）。

注

- すべてのネジをしっかり締め付けてください。
- ノコ刃の傾斜角度を変えるときは、その都度ノコ刃と刃口板が一致するように、刃口板を調整してください。

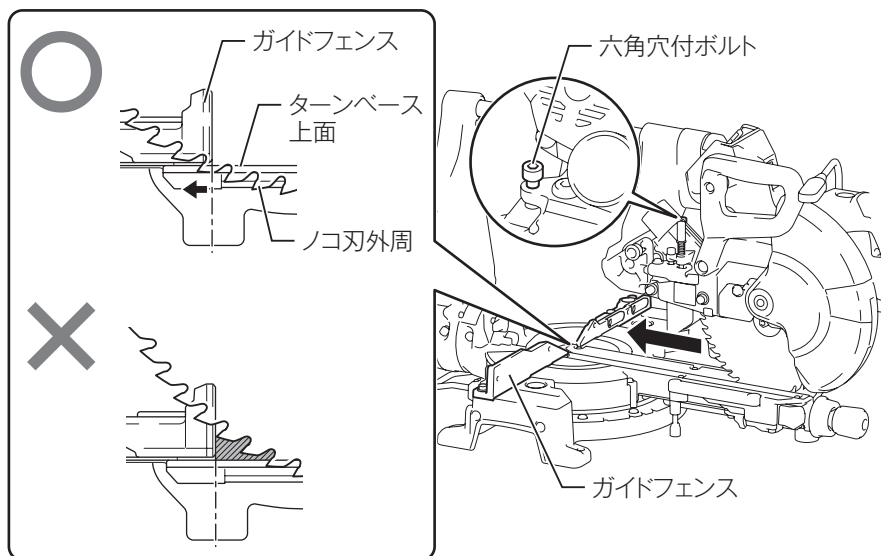
ノコ刃の下限位置決め調整

⚠ 警告

ノコ刃の下限調整の際は、必ずスイッチを切りバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを差したまま行くと事故の原因になります。

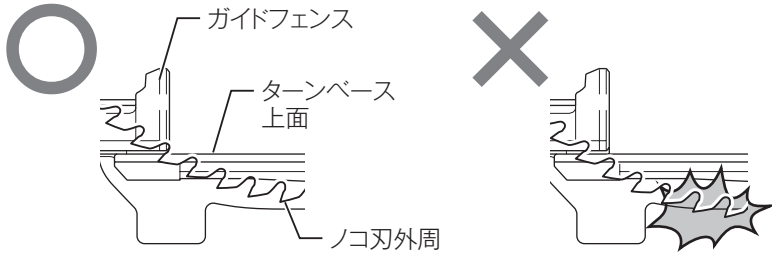
- ・ LS008G は外径 190 mm のノコ刃、LS009G は外径 165 mm のノコ刃を基準にして、ノコ刃の下限位置を調整してあります。基準以外のものを使用するときは、材料の切り残しが生じないように、次の手順で下限位置を調整してください。
1. 本製品をガイドフェンス側いっぱいまでスライドさせ、ハンドルをいっぱいに下げます。
 2. 六角穴付ボルトを付属の六角棒スパナ 5 で回して、ノコ刃の外周がガイドフェンス面とターンベース上面の交差する位置より下がった位置に調整します。



3. ノコ刃を手動で回しハンドルを押さえた際、ノコ刃が周辺の部品に干渉しないか確認します。
干渉する場合は再度調整します。

注

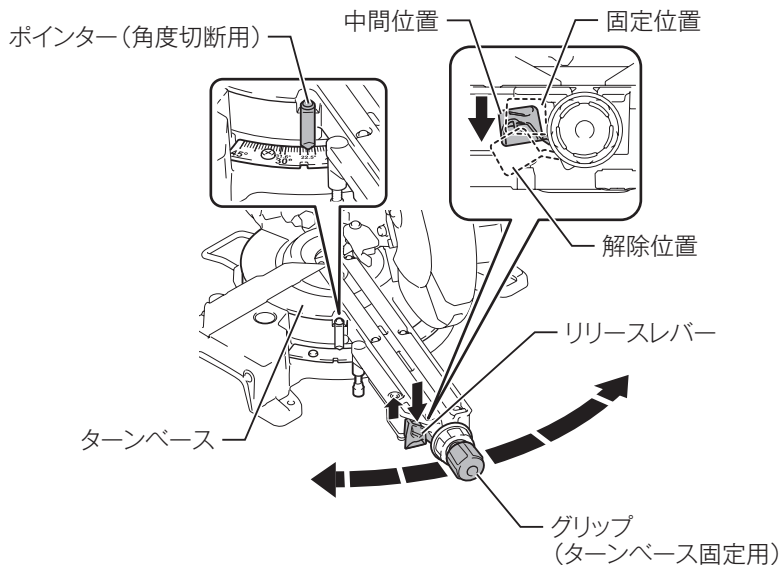
- ・ ノコ刃を取り替えたときは、ノコ刃が下限位置でターンベース底面に当たる恐れがありますので、ノコ刃の下限位置をご確認の上ご使用ください。



角度切断の切断角度設定

■ ポジティブストップ機能

- ・ ガイドフェンスに対して、グリッパ（ターンベース固定用）が直角になる位置を0°としています。
 - ・ 本製品には、0°とそれぞれ左右に15°、22.5°、30°、45°の位置で角度ストップが付いており、ターンベースの角度を素早く設定することができるポジティブストップ機能があります。
1. グリッパ（ターンベース固定用）を反時計回りに回してゆるめ、リリースレバーを中間位置まで押し下げます。
 2. グリッパ（ターンベース固定用）を持ってターンベースを左右に動かします。
 3. ポインター（角度切断用）が上記角度の付近で、リリースレバーを固定位置にしてグリッパ（ターンベース固定用）を動かすと角度ストップによりターンベースが動かなくなります。
 4. ターンベースが停止したら、グリッパ（ターンベース固定用）を時計回りに回して固定します。

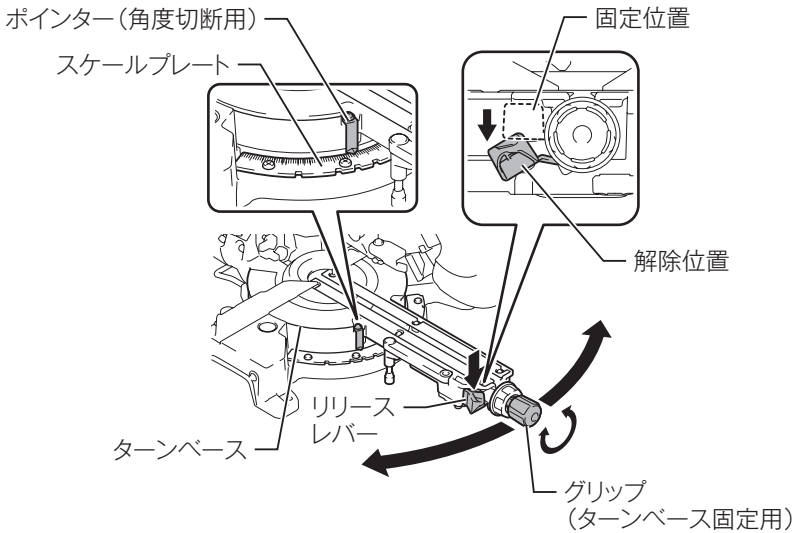


注

- ・ リリースレバーを「解除位置」にまで押し下げたり、中間位置のままターンベースを動かしていると、角度ストップは働きません。

■ ポジティブストップ機能を使用しない場合

- ・ リリースレバーを解除位置にした場合、ターンベースがフリーの状態になります。
 - グリップ（ターンベース固定用）を締め付けることで任意の角度でターンベースを固定することができます。
 - ・ 本製品はターンベースが左 47°、右 57°まで回転します。
1. グリップ（ターンベース固定用）を反時計回りに回転させ、リリースレバーを解除位置まで押し下げます。
 2. グリップ（ターンベース固定用）を持ってターンベースを左右に動かします。
 3. ポインター（角度切断用）をスケールプレート上の目的の角度に合わせます。
 4. グリップ（ターンベース固定用）を時計回りに締め付け、ターンベースをしっかりと固定します。



傾斜切断の切断角度設定

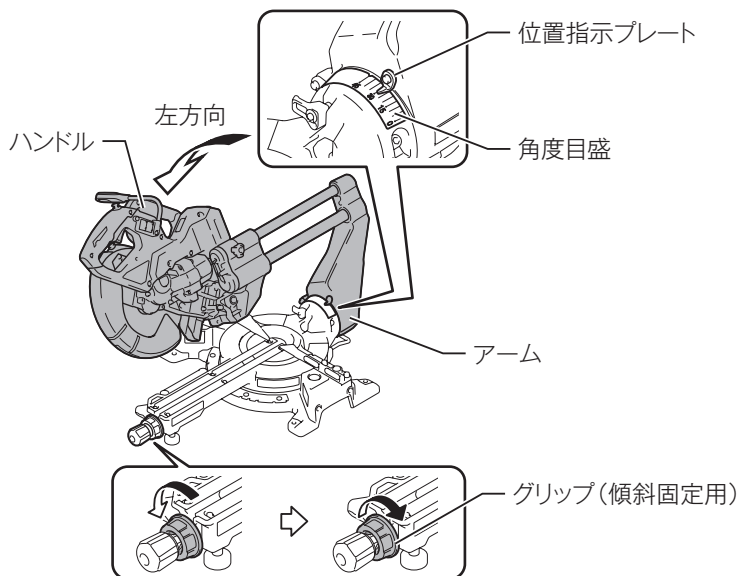
⚠ 注意

切断角度を変えるときは、ハンドルが上がった状態で行ってください。

ノコ刃傾斜角度 左右 0 ~ 45°までの設定

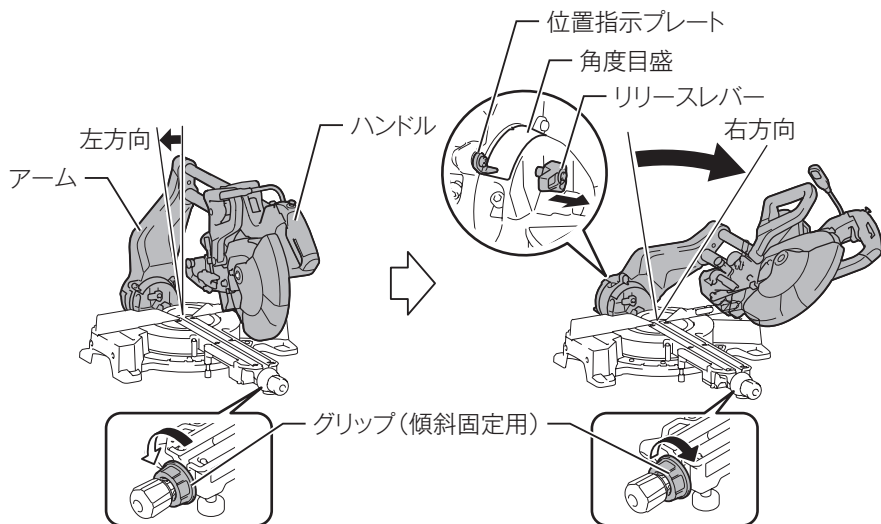
左に傾斜させるときは

1. グリップ（傾斜固定用）を反時計回りに回します。
2. ハンドルを持ち、本体を左方向に傾斜させます。
3. 位置指示プレートで角度目盛を目的の角度に合わせます。
4. グリップ（傾斜固定用）を時計回りに締めてアームを固定します。



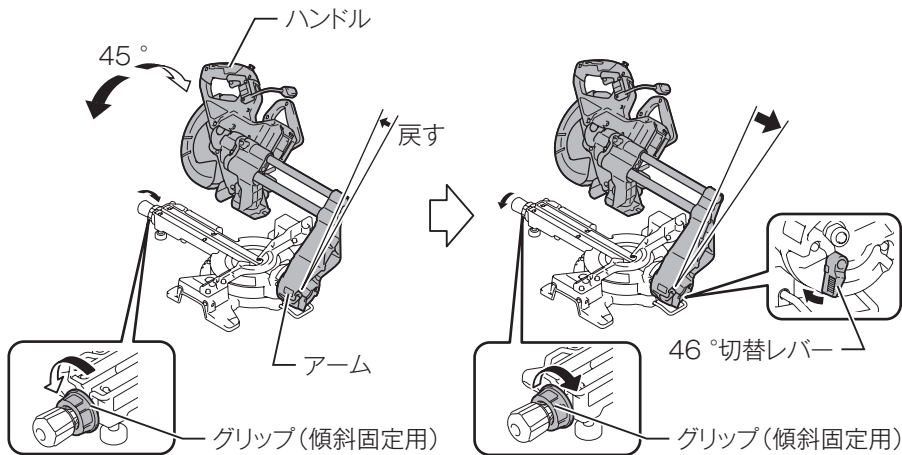
右に傾斜させるときは

1. グリップ（傾斜固定用）を反時計回りに回します。
2. ハンドルを持ち、本体を少し左方向に傾斜させます。
3. リリースレバーを引きながら本製品を右に傾けます。
4. 位置指示プレートで角度目盛を目的の角度に合わせます。
5. グリップ（傾斜固定用）を時計回りに締めてアームを固定します。



ノコ刃傾斜角度 左右 46° の設定

1. グリップ（傾斜固定用）を反時計回りに回します。
2. ハンドルを持ち、本製品を左 45° または右 45° に傾斜させます。
3. 本製品の傾斜を少し戻し、46°切替レバーを矢印の方向に動かします。
4. 46°切替レバーを動かしたまま、本製品を左または右に傾けます。
5. グリップ（傾斜固定用）を時計回りに締めてアームを固定します。



材料の固定

⚠ 注意

材料の固定は確実に行ってください。

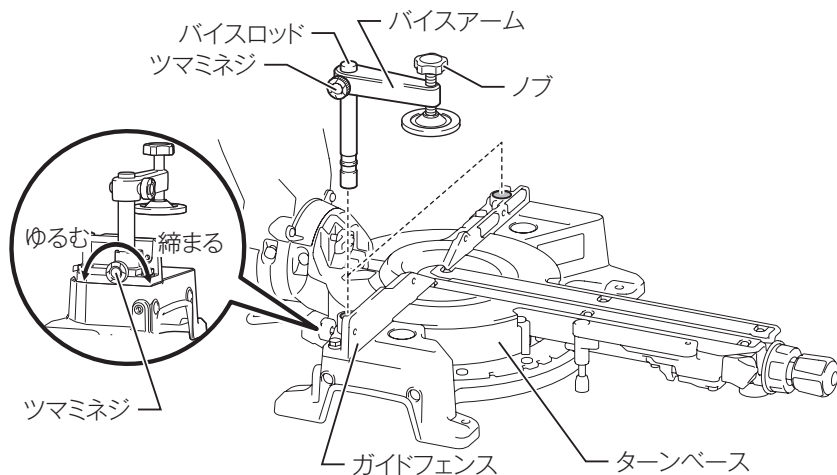
- ・ 材料の固定が不十分な場合、材料が飛ばされけがの原因になります。

■ たてバイスの取り付け方

- ・ たてバイスは、ガイドフェンスの左右2か所に取り付けることができます。
1. ガイドフェンスに、バイスロッドをツマミネジで固定します。
 2. 材料の厚さなどに合わせてバイスアームの位置を決め、ツマミネジでバイスアームを固定します。

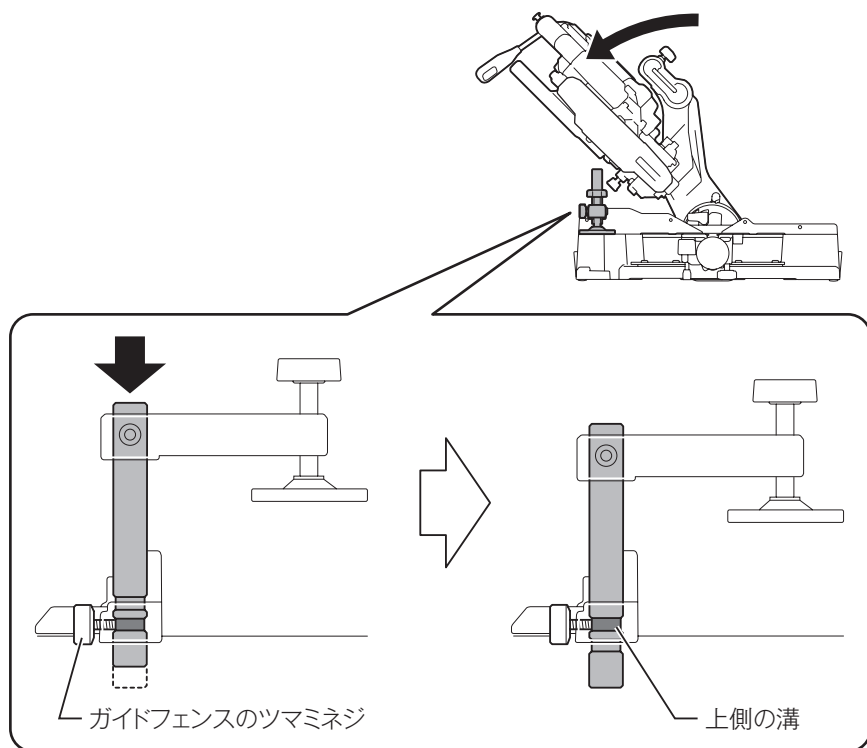
注

- ・ ハンドルを下げたときやスライドさせたときにたてバイスが本製品のどこにも接触しないことを確認してください。
- ・ たてバイスが本製品の一部に接触するときは、バイスロッドおよびバイスアームの位置を変えてください。
- ・ ハンドルを傾斜させるとたてバイスが接触するため、位置を変えてください。



■ たてバイスの使い方

- ・ 材料をガイドフェンスとターンベースに密着させ、材料の切断位置を合わせ、ノブを右に回して材料を固定します。
- ・ たてバイスで固定できる最大材料厚さは、LS008Gは70 mm、LS009Gは58 mmです。
- ・ 左傾斜時に、ガイドフェンスの左側でバイスを使用する場合は、バイスロッドの上側の溝をガイドフェンスのツマミネジで固定します。



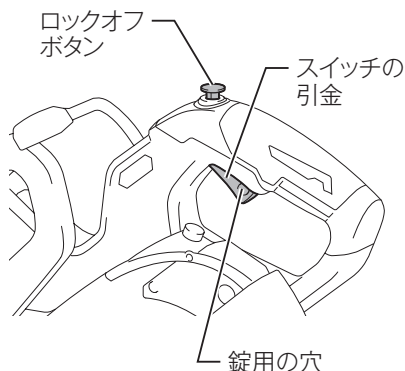
スイッチの操作

⚠ 警告

本製品にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

・ スイッチを入れたまま、バッテリーを差し込むと事故の原因となります。

- ・ スイッチはロックオフボタンを押し込んだ状態で、スイッチの引金を引けば入り、放すと切れます。
- ・ スイッチの引金を放すと自動的にロックオフ機構が働き、スイッチが入らない状態になります。
- ・ スイッチの引金には錠用の穴があり、錠をかけて使用できないようにすることができます。



注

- ・ 門（かんぬき）やワイヤーの直径が 6.35 mm 以下の錠は使用しないでください。スイッチの引金を確実に固定できないため、本製品が動き出す恐れがあります。

ライトの使い方

⚠ 警告

本製品は防水構造ではありません。水洗いしたり、雨中や湿気の多い所で使用しないでください。

- ・ 感電や発煙の恐れがあります。

⚠ 注意

ライト点灯時、および消灯直後はライトレンズ部が高温になっているため、触れないでください。

- ・ やけどの原因になります。

ライトに強い衝撃を加えないでください。

- ・ ライトの損傷や寿命低下の原因になります。

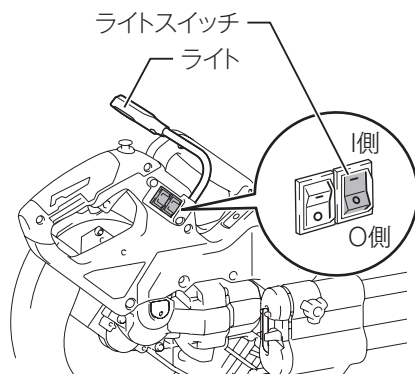
ライトの光を直接のぞきこまないでください。

- ・ 光が目や皮膚に直接当たると、目を傷める原因になります。

点灯したまま、布やダンボールなどをかぶせないでください。

- ・ 発火の恐れがあります。

- ・ ライトのスイッチはI側を押すと点灯し、O側を押すと消灯します。
- ・ 照明位置を変えるにはライトを動かしてください。



注

- ・ ライトレンズ部に付着したゴミは、柔らかい布などで拭きとり、キズが付かないように注意してください。ライトレンズ部にキズが付くと、照度低下の原因になります。

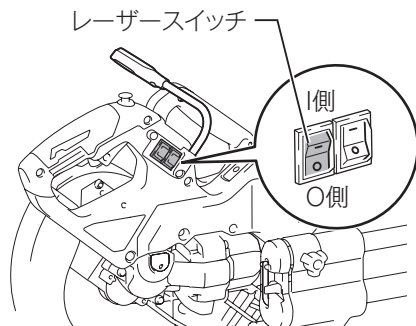
レーザーの使い方

⚠ 注意

レーザー光（ビーム）を直接のぞきこまないでください。

- ・ レーザー光が目には直接当たると、目を傷める原因になります。

- ・ レーザーのスイッチは I 側を押すと点灯し、O 側を押すと消灯します。



- ・ ツマミネジを下記手順で操作することによって、レーザーラインをノコ刃の左側、または右側に移動させることができます。

1. ツマミネジを少しゆるめます。
2. その状態でつまみネジを右、または左に止まるまでスライドさせます。
3. 止まった位置でつまみネジをしっかり締め付けます。



- ・ レーザーラインの位置は、ノコ刃側面（切断位置）から 1 mm 以内になるように、出荷時に調整してあります。
- ・ より正確に位置合わせをする場合は、77 ページの「レーザーラインの位置調整」の項目を参照してください。

注

- ・ ツマミネジはゆるめすぎないようにしてください。
- ・ 屋外や屋内の窓際作業で、太陽光によりレーザーラインが薄く見えにくい場合は、太陽光が直接当たらない場所で作業してください。

レーザーラインの合わせ方

切断用途によりレーザーラインはノコ刃の左側、または右側の墨線に合わせてすることができます（レーザーラインの移動方法の詳細は 48 ページ参照）。

注

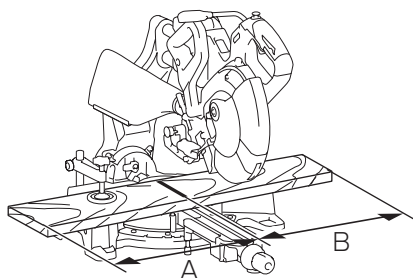
- ・ 複合切断（ノコ刃傾斜左 45°、ターンベース角度を右 45°方向にした場合）においてガイドフェンス側でレーザーで墨線合わせをする場合は当て木をしてください。

A（材料の左側）の長さが必要な場合

- ・ ノコ刃の左側にレーザーラインを移動させます。

B（材料の右側）の長さが必要な場合

- ・ ノコ刃の右側にレーザーラインを移動させます。
- ・ レーザーラインに墨線を合わせます（切断方法の詳細は 53 ページ参照）。



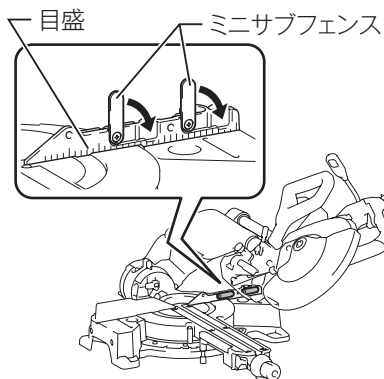
ミニサブフェンスの使い方

警告

右傾斜切断時は、ミニサブフェンスを倒してガイドフェンス内におさめてから作業してください。

- ・ 本製品およびノコ刃がミニサブフェンスに当たり、けがの原因になります。

- ・ 本製品にはガイドフェンスにミニサブフェンスが付属しています。直角および左傾斜切断時に材料の案内面が広くとれます。
- ・ ガイドフェンスには 5 mm ごとに目盛が付いています。切り落とし寸法の目安になります。



サブテーブルの使い方

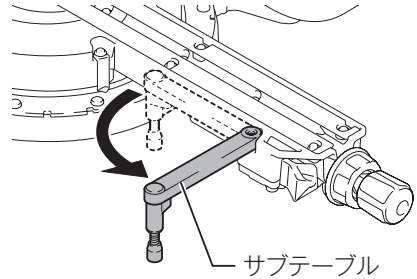
⚠ 注意

運搬時、使用しない際には、サブテーブルを収納して固定してください。

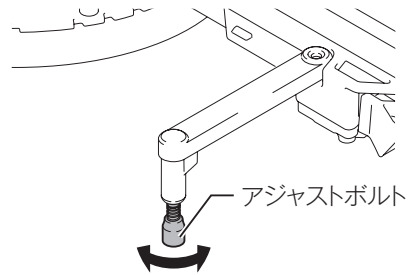
- ・ 不意にサブテーブルが動き、けがの原因となります。

・ 幅広材を切断する際に、サブテーブルを使用すると安定させることができます。

1. サブテーブルを少し持ち上げながら手前に開きます。



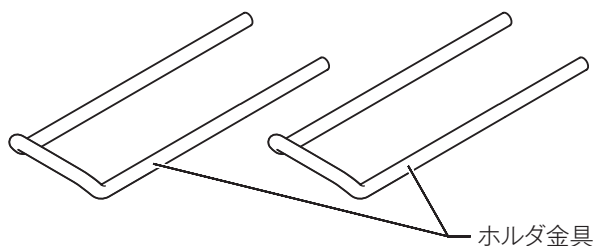
2. アジャストボルトを左右に回して足の高さを調整します。



ホルダ金具セット品(別販売品)、ホルダセット品(別販売品)の使い方

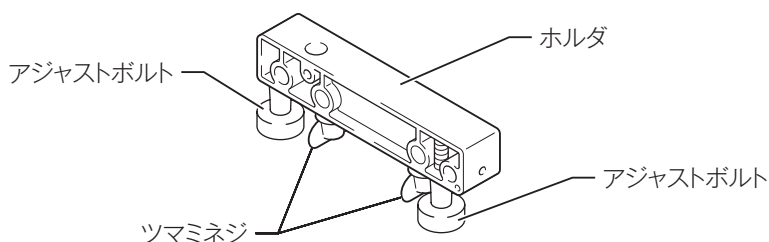
■ ホルダ金具セット品 (別販売品)

- ・ ホルダ金具 2個



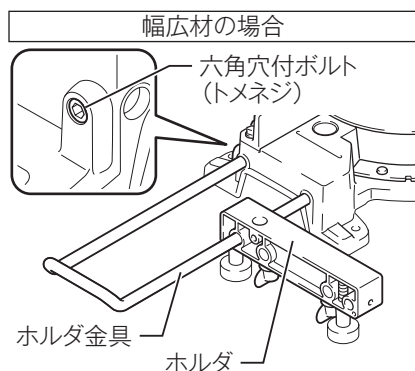
■ ホルダセット品 (別販売品)

- ・ ホルダ
- ・ ツマミネジ 2個
- ・ アジャストボルト 2個



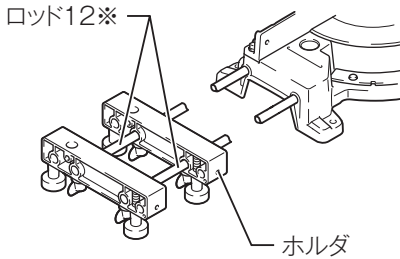
■ 使い方

- ・ ホルダ金具セット品 (別販売品)、ホルダセット品 (別販売品) は長い材料を切りたいときに安定させるものです。図のように取り付けてご使用ください。
- ・ 取り付け後は、六角穴付ボルト (トメネジ) を六角棒スパナ5で締め、固定してください。

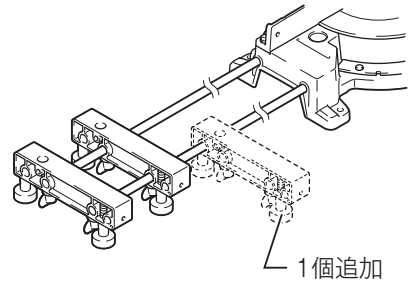


- ・ 長尺材の切断には、下記を参考にホルダセット品（別販売品）、ロッド12（別販売品）を組み合わせることで、材料をより安定した状態にできます。

長尺材の場合



長尺幅広材の場合

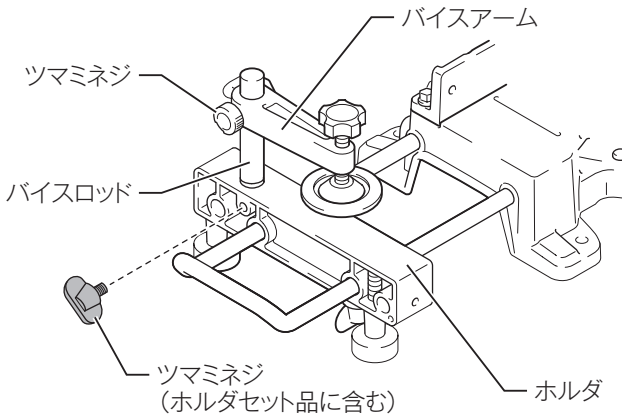


※ロッド12は2本必要です。

■ ホルダセット品（別販売品）とたてバイスの取り付け方

- ・ たてバイスは、別販売品のホルダセット品に取り付けることができます。
1. バイスロッドを、ホルダセット品に含まれているツマミネジで、ホルダに固定します。
 2. 材料の厚さなどに合わせてバイスアームの位置を決め、ツマミネジでバイスアームを固定します。

バイスアッセンブリ(たて)を使用する場合



切断方法

⚠ 注意

無理にハンドルを押さえつけたり、左右に強い力を加えないでください。

- ・ モータに無理がかかるばかりでなく本製品に強い反発力を生じ、けがの原因になります。

ターンベースをしっかりと固定してから切断してください。

アーム部をしっかりと固定してから切断してください。

1. 押し切り切断（小物材の切断）

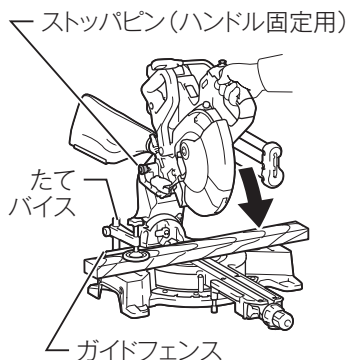
⚠ 注意

スライド軸を確実に固定してください。

- ・ 本製品の固定が不十分な場合は、本製品に反発力を生じけがの原因になります。

- ・ LS008G は高さ 62 mm × 幅 78 mm、LS009G は高さ 51 mm × 幅 76 mm までの材料が切断できます。

1. 本製品をガイドフェンス側いっぱいまでスライドさせた後、ツマミネジ（スライド固定用）で固定します（詳細は 24 ページ参照）。
2. ストッパピン（ハンドル固定用）を操作して、ハンドルの固定を解除します（詳細は 23 ページ参照）。
3. 切断角度を設定します。
4. 材料をガイドフェンスとターンベースに密着させて材料の切断位置を合わせ、たてバイスで固定します（詳細は 45 ページ参照）。
5. ハンドルを握りノコ刃が材料に触れない状態でスイッチを入れます。
6. ノコ刃の回転が上昇し、安定してからハンドルを軽く押さえ、静かに下限位置まで下げて切断します。
7. 材料を切り終わったら、その位置でスイッチを切り、ノコ刃の回転が完全に止まってからハンドルを上げます。



2. スライド切断（幅広材の切断）

⚠ 警告

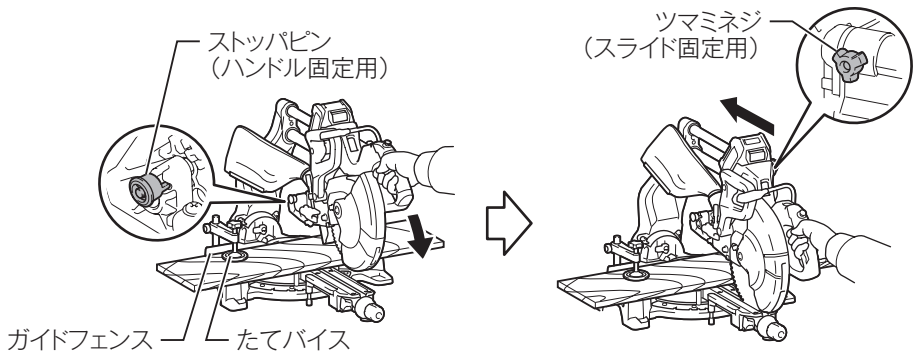
ノコ刃回転中に、スライド固定用のツマミを操作しないでください。
 ・ けがの原因になります。

⚠ 注意

必ず本製品を手前側いっぱいまで戻した状態で切断してください。

・ 本製品を手前側いっぱいまで戻さずに押し切りしたり、手前に引きながらスライド切断しますと本製品に反発力を生じけがの原因になります。

- ・ LS008G は高さ 62 mm × 幅 312 mm、LS009G は高さ 51 mm × 幅 312 mm までの材料が切断できます。
- 1. ストップピン(ハンドル固定用)とツマミネジ(スライド固定用)を操作して、ハンドルとスライドの固定を解除します（詳細は 23、24 ページ参照）。
- 2. 切断角度を設定します。
- 3. 材料をガイドフェンスとターンベースに密着させて材料の切断位置を合わせ、たてバイスで固定します（詳細は 45 ページ参照）。
- 4. ハンドルを握り、本製品を手前側いっぱいまで引き出します。
- 5. 本製品を手前側いっぱいまで出した状態で、スイッチを入れます。
- 6. ノコ刃の回転が上昇し、安定してからハンドルを軽く押さえ、静かに下限位置まで下げ、その状態を保ちながらガイドフェンス側へ本製品をスライドさせて切断します。
- 7. 材料を切り終わったら、その位置でスイッチを切り、ノコ刃の回転が完全に止まってからハンドルを上げます。



注

- ・ スライド切断中は、スライドを途中で止めないでください。スライドを途中で止めると、切断面にノコ刃のキズが深く付いたり、切断精度が悪くなります。
- ・ ハンドルを下げた状態で固定したまま、スライド切断しないでください。

3. 角度切断（ターンベース回転）

- ・ 39 ページの「角度切断の切断角度設定」の項を参照してください。

4. 傾斜切断

⚠ 警告

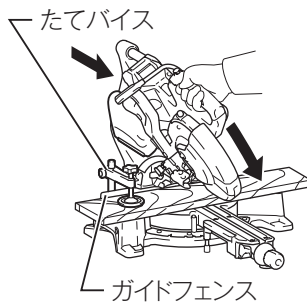
必ずノコ刃が完全に停止してからハンドルを上げてください。

- ・ 切り落とし側の材料がノコ刃に巻き込まれ飛散しけがの原因になります。

- ・ 下記の材料が切断できます。

ノコ刃傾斜角度	LS008G	LS009G
左 45° 傾斜時	高さ 41 mm × 幅 312 mm	高さ 34 mm × 幅 312 mm
右 45° 傾斜時	高さ 24 mm × 幅 312 mm	高さ 15 mm × 幅 312 mm

1. ストップピン(ハンドル固定用)とツマミネジ(スライド固定用)を操作して、ハンドルとスライドの固定を解除します（詳細は 23、24 ページ参照）。
2. グリップ（傾斜固定用）をゆるめ傾斜角度を設定します（詳細は 41 ページ参照）。
3. 切断角度を設定します。
4. 材料をガイドフェンスとターンベースに密着させて材料の切断位置を合わせ、たてバイスで固定します（詳細は 45 ページ参照）。
5. ハンドルを握り、本製品を手前側いっぱいまで引き出します。
6. 本製品を手前側いっぱいまで出した状態で、スイッチを入れます。
7. ノコ刃の回転が上昇し、安定してからハンドルをノコ刃と平行な方向（ノコ刃の傾斜した方向）へ軽く押さえ、静かに下限位置まで下げ、その状態のままガイドフェンス側へスライドさせて切断します。
8. 材料を切り終わったら、その位置でスイッチを切り、ノコ刃の回転が完全に止まってからハンドルを上げます。



注

- ・ ハンドルを操作するときは、ノコ刃と平行な方向に力を加えてください。ターンベースと垂直な方向に力を加えたり、切断途中で力の加わる方向が変わると切断精度が悪くなります。

5. 複合切断（角度切断＋傾斜切断）

- ・ ターンベースによる角度設定とノコ刃による傾斜角度設定を組み合わせることによって表に示す範囲の複合切断ができます。

角度切断	傾斜切断
左右 45° のとき	左右 45° まで

- ・ 下記の材料が切断できます。

ノコ刃傾斜角度	LS008G	LS009G
左 45° 傾斜時	高さ 41 mm × 幅 220 mm	高さ 34 mm × 幅 220 mm
右 45° 傾斜時	高さ 24 mm × 幅 220 mm	高さ 15 mm × 幅 220 mm

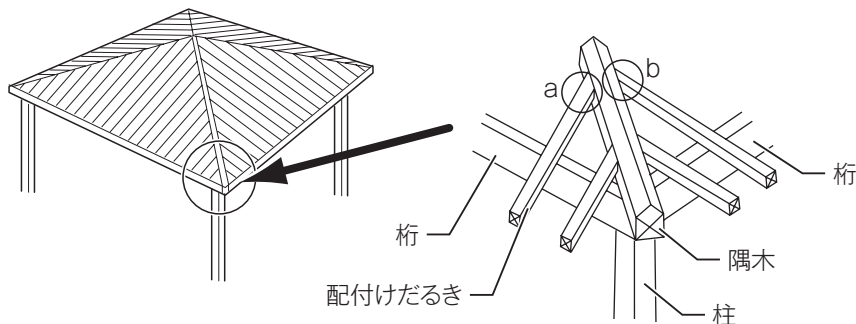
- ・ 角度切断（押し切り切断、スライド切断）および傾斜切断の項を参照してご使用ください。

6. 配付けだるき加工

- ・ 複合切断により、下記寸法の角材までの配付けだるきの加工ができます。

当て木	LS008G	LS009G
無し	60 mm 角材	48 mm 角材
あり (厚さ 20 mm)	—	55 mm 角材
あり (厚さ 25 mm)	68 mm 角材	—

- ・ 配付けだるきの隅木胴付部は、図に示すa部とb部があります。ターンベース回転方向により、下記のようにa部とb部になります。



ノコ刃左傾斜	
ターンベース左方向	ターンベース右方向

- ・ 屋根勾配に合った切断角度 (ターンベースの角度・ノコ刃の傾斜角度) を下の表より設定してください。

配付けだるき加工表

屋根勾配	2 寸	2 寸 5 分	3 寸	3 寸 5 分	4 寸	4 寸 5 分	5 寸	5 寸 5 分
ターンベースの角度	45.6°	45.9°	46.2°	46.7°	47.1°	47.6°	48.2°	48.8°
ノコ刃の傾斜角度	8°	10°	11.5°	13.5°	15°	17°	18.5°	20°

- ・ 屋根勾配 3 寸 5 分を越える場合は 47°を越えるため、ターンベース右方向で作業してください。
- ・ 「押し切り切断」と同様に本製品のスライドおよび材料を固定して切断してください。

7. アルミサッシの切断

⚠ 注意

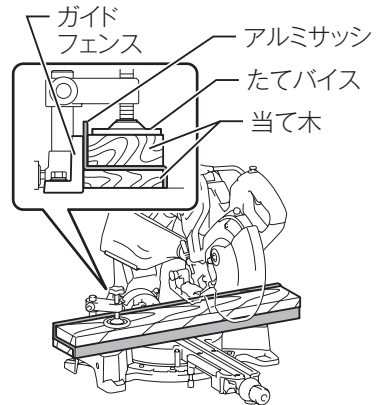
当て木や治具を使用しても確実に固定できないものは、切断しないでください。

- ・ 材料の固定が不安定となり、けがの原因になります。

丸棒など断面が中空でないもの、肉厚が大きいものは、切断しないでください。

- ・ 本製品に反発力を生じ、けがの原因になります。

- ・ アルミサッシなどたてバイスで直接締め付けると容易に変形する材料は、材料の形状に合わせた当て木や治具を使用して、材料が変形しないようにしてから切断してください。
- ・ アルミサッシの切断に際しては、材料に軽油やスプレー潤滑材など切削油を塗布してください。



8. 当て木を利用しての加工

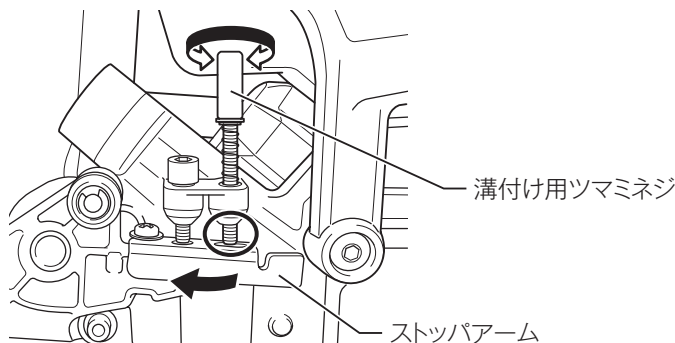
⚠ 注意

調整するときはハンドルをしっかりと握ってください。

- ・ ハンドルを握っていないとハンドルが跳ね上がった際、けがの原因になります。

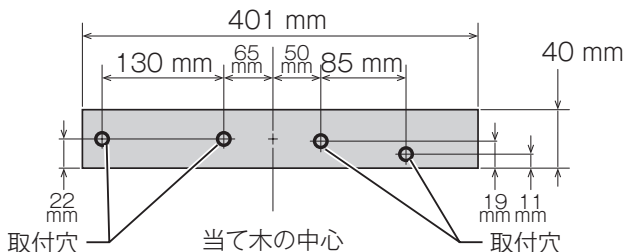
■ 切断加工の場合

- ・ LS008G は高さ 62 mm ~ 70 mm、LS009G は高さ 51 mm ~ 58 mm の材料を切断するときは、ガイドフェンス側に切り残しがでないようにするため当て木を使用してください。
 - ・ 当て木は、厚さが均一でそりのない材料を使用しガイドフェンスの取り付け穴を利用して 4 mm のネジで取り付けてください。
1. ストッパアームを矢印のようにスライドさせます。
 2. 溝付け用ツミネジがストッパアームに当たらない位置までゆるめます。
- ・ ノコ刃の下限位置が、当て木切断時の高さに設定されます (当て木切断時の切断高さは出荷時に調整済みです)。



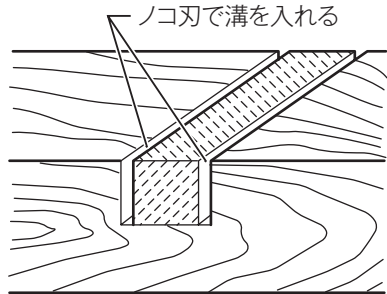
LS008G で高さ 70 mm の材料、LS009G で高さ 58 mm の材料を切断するときの当て木厚さ

ターンベース角度	当て木厚さ	
	LS008G	LS009G
0°	25 mm 以上	20 mm 以上
左右 45°	20 mm 以上	15 mm 以上
右 57°	15 mm 以上	10 mm 以上



■ 溝加工の場合

- ・ ノコ刃の下限位置をブレードケースの溝付け用ツマミネジで調整することにより、図に示すような溝加工ができます。溝を入れる場合は、55 mm 以上の当て木を使用してください。
- ・ スライド切断で溝を加工したのち、斜線部は、のみなどで取り除いてください。



1. ストッパームを矢印の方向にスライドさせます。
2. ノコ刃がお好みの下限位置で止まるように手で溝付け用ツマミネジを回して調整します。
3. ハンドルを下げたとき、ノコ刃がお好みの下限位置で止まることを確認します。



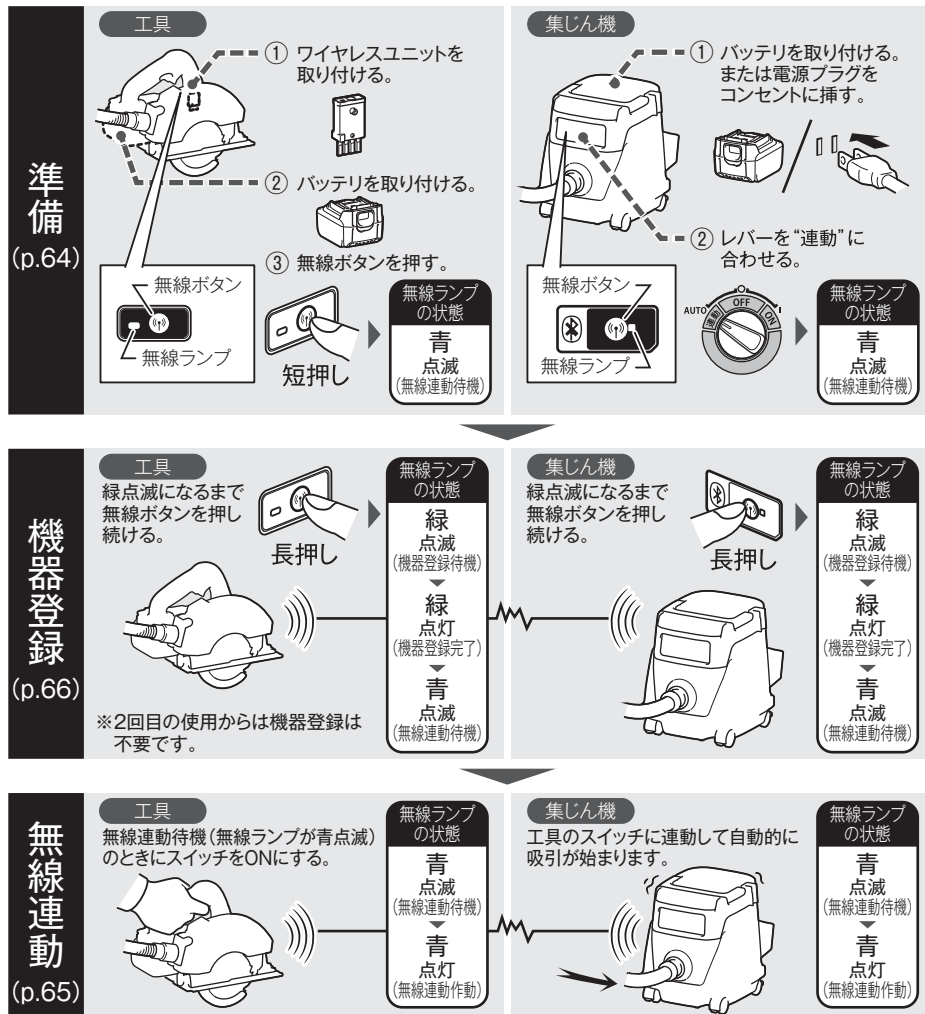
注

- ・ 溝加工の際、加える力の大きさにより溝深さが変わることがあります。

無線連動機能 (AWS)

無線連動の手順概要

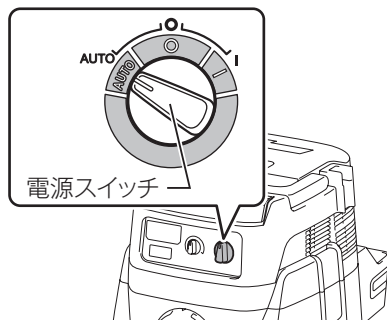
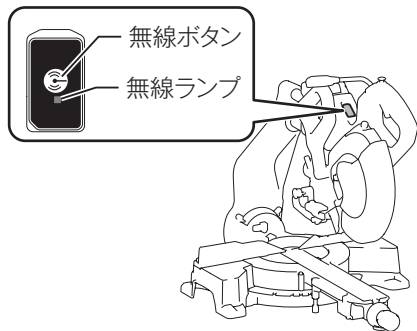
無線連動の大まかな手順は以下のとおりです。
 工具、集じん機の操作はどちらが先でもかまいません。くわしい操作方法は各ステップの説明ページを参照してください。



※製品のイラストは参考例です。製品によりボタンや位置、その他デザインが異なります。

※無線ランプが青点滅中に、工具側の無線ボタンを短く押ししたり、集じん機側のレバーを連動以外にしたりすると無線連動が解除されます。

- ・ 無線連動機能（AWS）を利用するには、無線連動機能に対応したマキタ純正工具と集じん機が必要です。
- ・ 機器登録 / 登録解除の前に工具にワイヤレスユニットが取り付けられていることを確認してください。
- ・ 機器登録 / 登録解除をするときは、工具と集じん機の無線ランプの状態が確認できるように設置してください。



Bluetooth[®] について



Bluetooth のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、マキタはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。

ワイヤレスユニット(A-66151)の取り付け・取りはずし方

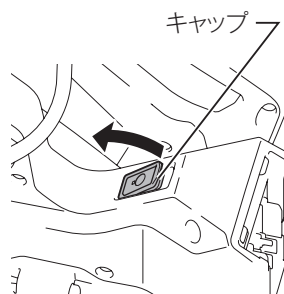
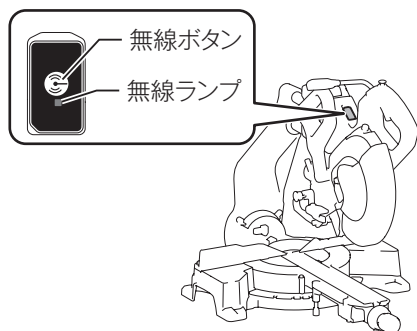
- ・ 無線連動機能を使うためには、工具にワイヤレスユニットを取り付ける必要があります。

注

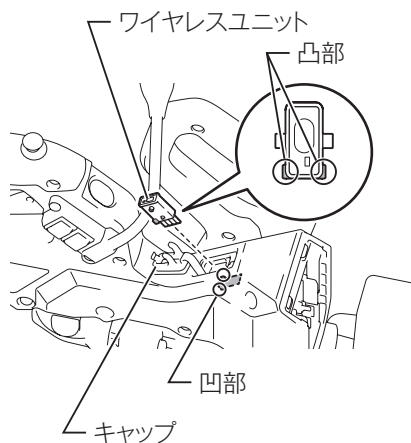
- ・ ワイヤレスユニット取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切りバッテリーを抜いてください。
 - ・ バッテリーを差したまま行くと、ワイヤレスユニットの故障原因になります。

■ 取り付け方

1. キャップを開きます。

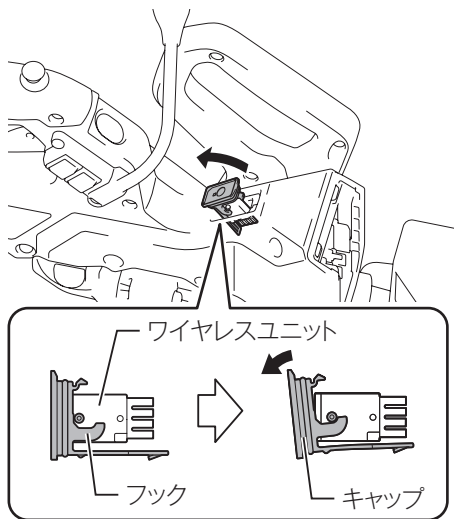


2. ワイヤレスユニットの凸部をスロットの凹部に合わせて挿入します。
3. キャップを閉じます。キャップがしっかりと閉まっていることを確認してください。



■ 取りはずし方

1. キャップを開きます。
 - ・ キャップのフックがワイヤレスユニットを引き出します。



2. ワイヤレスユニットを取り出して、専用ケースに保管します。
3. キャップを閉じます。

注

- ・ キャップは使用時も保管時も閉じておいてください。粉じんなどが入り、故障の原因になります。

無線連動の準備

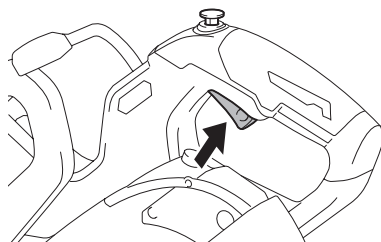
1. 集じん機の電源スイッチを「連動 (AUTO)」の位置に入れます。集じん機の無線ランプが青色点滅をしてお知らせします。「OFF (O)」の位置にすると電源が切れます。
2. 無線連動させる工具の電源を入れ、無線ボタンを押します。工具の無線ランプが青色点滅をしてお知らせします。

無線連動

- 無線連動させる工具には、以下のどちらかを行ってください。
 - ①工具に取り付けたワイヤレスユニットを集じん機に機器登録をする(66 ページ参照)。
 - ②機器登録をしたワイヤレスユニットを取り付ける。

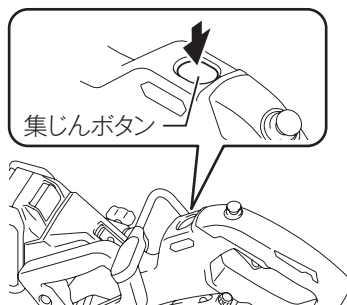
工具のスイッチとの無線連動

- 工具のスイッチを入れると、集じん機が無線連動して集じんを行います。
- 無線連動中は、集じん機と工具の無線ランプが青色点灯に変わります。



集じんボタンとの連動

- 集じんボタンを押すと、集じん機が無線連動して集じんを行います。
- 無線連動中は、集じん機と工具の無線ランプが青色点灯に変わります。
- もう一度集じんボタンを押すと、数秒遅れて集じんが停止します。
- 集じんに工具のスイッチを入れて動作させた場合、スイッチを切った後、数秒遅れて集じんが停止します。
- 5分経つと自動で集じんを停止します。

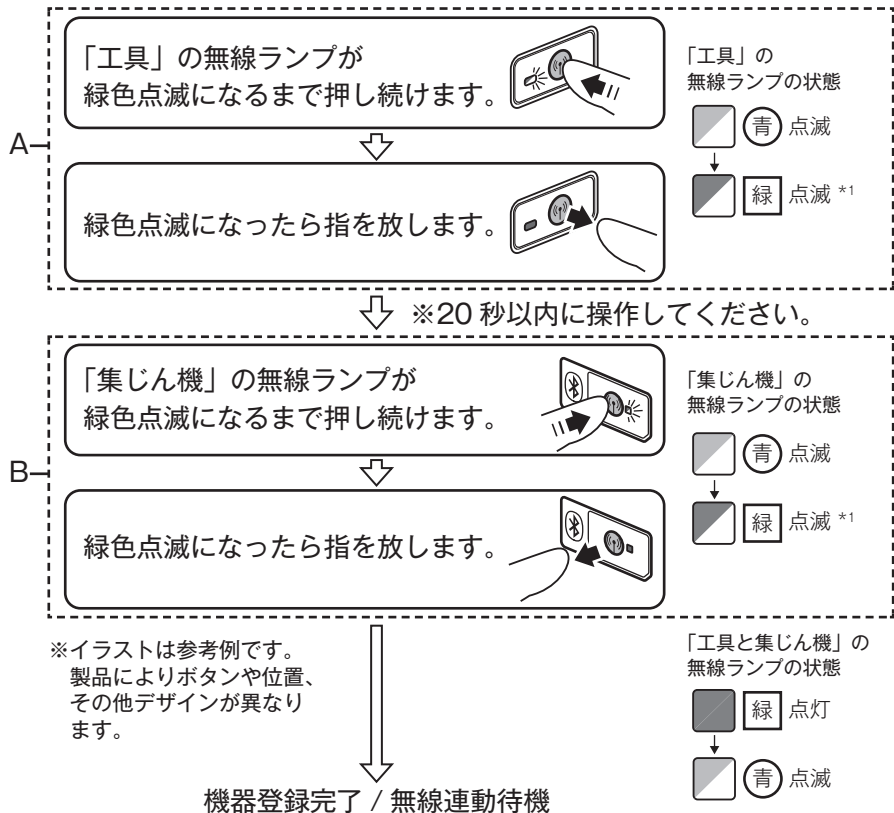


注

- 電源スイッチが「連動 (AUTO)」の位置でも、操作スイッチで運転 / 停止ができます。ただし、無線連動運転中は操作スイッチでの運転 / 停止はできません。
- 工具のスイッチ、集じんボタンが入ったことを検知してから集じん機に発信するため、集じん機の始動は少し遅れます。
- 工具のスイッチ、集じんボタンを切った後も、集じん機はホース内のゴミを吸い込むために数秒間運転してから停止します。

機器登録

- ・ 無線連動させる工具に取り付けたワイヤレスユニットを集じん機に登録します。
- ・ 機器登録済みのワイヤレスユニットを工具に取り付ければ、使用するたびに機器登録をする必要はありません。
- ・ 操作は工具と集じん機の両方で行います。
- ・ 操作前に無線連動の準備をします（64 ページ参照）。

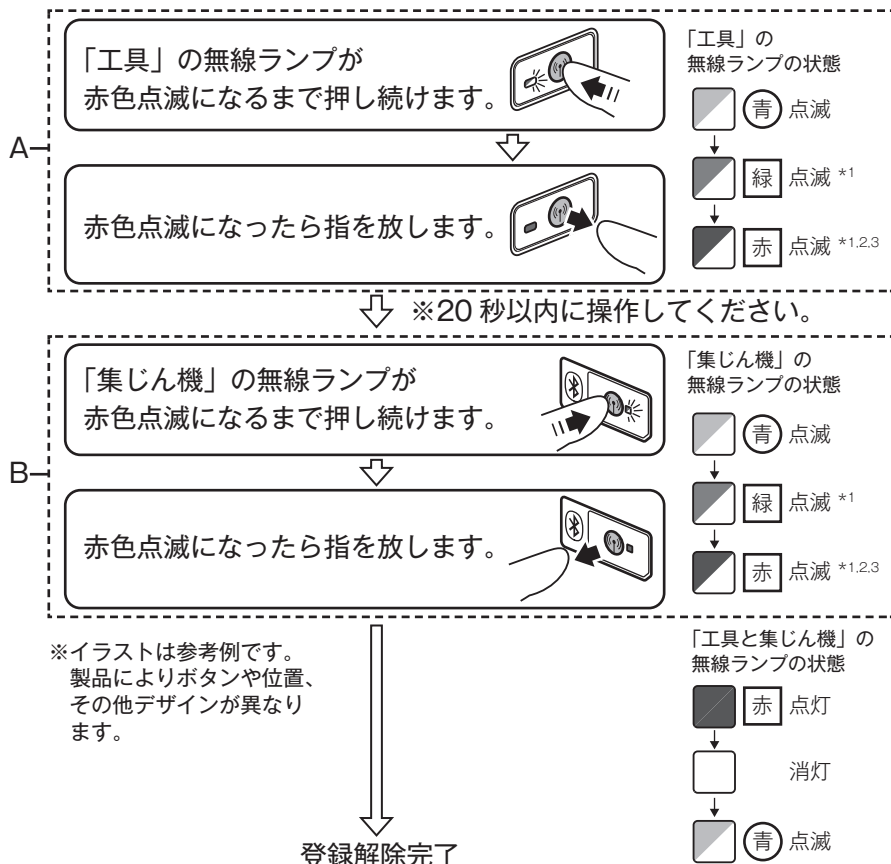


注

- ・ A の操作と B の操作はどちらを先にしてもかまいませんが、必ず 20 秒以内に次の操作を行ってください。
- ・ *1：無線ランプが緑色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。
- ・ 最大 10 個のワイヤレスユニットまで機器登録できます。10 個を超えた場合は上書きされるため、最も古い登録情報が解除されます。

登録解除

- ・ 記憶している工具との機器登録を個別で解除します。
- ・ 操作は工具と集じん機の両方で行います。
- ・ 操作前に無線連動の準備をします（64 ページ参照）。

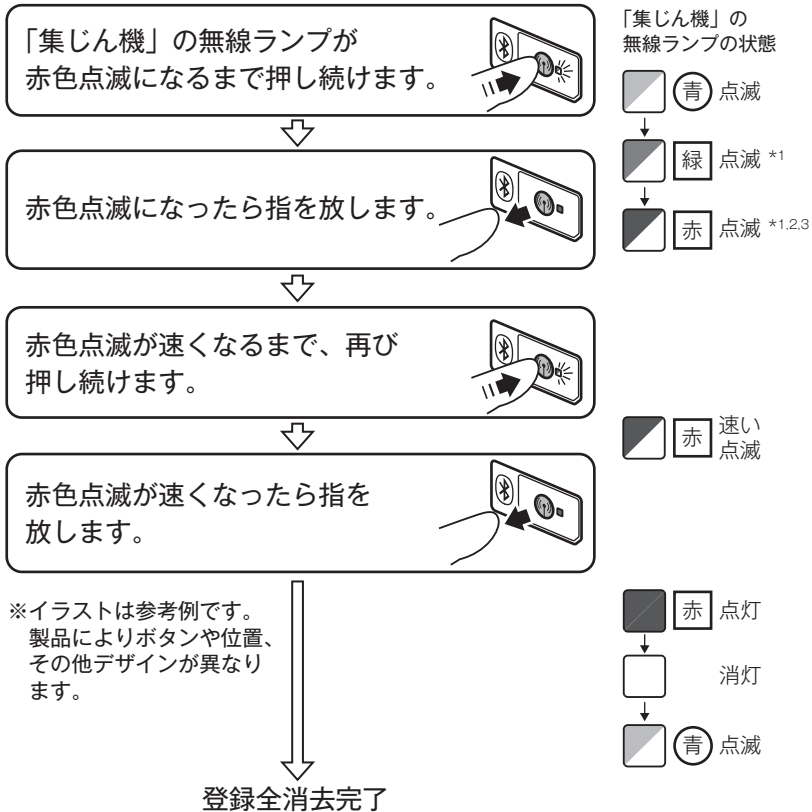


注

- ・ A の操作と B の操作はどちらを先にしてもかまいませんが、必ず 20 秒以内に次の操作を行ってください。
- ・ *1：無線ランプが緑色や赤色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。
- ・ *2：無線ランプが赤色に点滅しない場合は、一度無線ボタンを短く押してからやり直してください（青色点滅に戻ります）。
- ・ *3：赤色の点滅は約 20 秒で終了します。点滅が終了した場合は、再び赤色の点滅になるまで無線ボタンを押し続けてください。

登録全消去

- ・ 記憶している工具との機器登録をすべて消去します。
- ・ 操作は集じん機のみで行います。
- ・ 操作前に無線連動の準備をします（64 ページ参照）。



注

- ・ *1：無線ランプが緑色や赤色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。
- ・ *2：無線ランプが赤色に点滅しない場合は、一度無線ボタンを短く押してからやり直してください（青色点滅に戻ります）。
- ・ *3：赤色の点滅は約 20 秒で終了します。点滅が終了した場合は、再び赤色の点滅になるまで無線ボタンを押し続けてください。

無線ランプについて

基本モード	色	点灯 / 点滅と継続時間		状態
待機	青	点滅	集じん機： 連動（AUTO）時	機器登録の待機中です。
			工具： 電源を入れ、無線ボタンを押したとき	
			機器登録の完了後	無線連動の待機状態です。
		工具：約 2 時間	無線連動機能が利用できません。 無操作の状態が 2 時間続くと消灯し、無線連動機能停止します。	
		点灯	運転中のみ	無線連動機能中です。
機器登録	緑	点滅	約 20 秒間	機器登録の準備中です。 登録する工具（ワイヤレスユニット）を探しています。
		点灯	約 2 秒間	機器登録が完了しました。 その後、青色の点滅になります。
登録解除・登録全消去	赤	遅い点滅 (2 回 / 秒)	約 20 秒間	登録解除の準備中です。 登録解除する工具（ワイヤレスユニット）を探しています。
		早い点滅 (5 回 / 秒)	赤色の点滅後に、 再び無線ボタンを押し続けたとき	登録した工具（ワイヤレスユニット）を全消去する準備ができました。
		点灯	約 2 秒間	登録全消去が完了しました。 その後、青色の点滅になります。
その他	赤	点灯	約 3 秒間	無線連動機能の起動中です。
	消灯	—	—	無線連動機能が停止しています。

注

- 無線ランプが緑色や赤色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。

トラブルシューティング

症状	原因		対策
無線ランプ が点灯 / 点滅しない。	工具	ワイヤレスユニットが取り付けられていない、または取り付け方が間違っている。	ワイヤレスユニットを正しく取り付けてください。 ⇒ 62 ページ参照
		ワイヤレスユニットの端子や取り付け部分が汚れている。	ワイヤレスユニットの端子やスロットに付いたほこりや汚れを落として、取り付け直してください。
		工具の無線ボタンを押していない。	工具の無線ボタンを押してください。 ⇒ 64 ページ参照
	集じん機	集じん機のスイッチが「連動 (AUTO)」になっていない。	集じん機のスイッチを「連動 (AUTO)」にしてください。 ⇒ 64 ページ参照
		共通	集じん機、または工具の電源が入っていない。 バッテリーの容量が少ない。
機器登録 / 登録解除ができない。	工具	ワイヤレスユニットが取り付けられていない、または取り付け方が間違っている。	ワイヤレスユニットを正しく取り付けてください。 ⇒ 62 ページ参照
		ワイヤレスユニットの端子や取り付け部分が汚れている。	ワイヤレスユニットの端子やスロットに付いたほこりや汚れを落として、取り付け直してください。
	集じん機	集じん機のスイッチが「連動 (AUTO)」になっていない。	集じん機のスイッチを「連動 (AUTO)」にしてください。 ⇒ 64 ページ参照
	共通	集じん機、または工具の電源が入っていない。	集じん機、工具ともに電源を入れてください。
		操作手順の間違い。	無線ボタンを短く押してからやり直してください。 ・ 機器登録 ⇒ 66 ページ参照 ・ 登録解除 ⇒ 67 ページ参照
		工具と集じん機が離れすぎている。	工具と集じん機を近づけて操作してください (最大通信距離は約 10 m。周囲の環境によって変化します)。
		機器登録 / 登録解除の完了前に工具や集じん機のスイッチを入れた。	機器登録 / 登録解除を最初からやり直してください。 ・ 機器登録 ⇒ 66 ページ参照 ・ 登録解除 ⇒ 67 ページ参照
		集じん機、工具の片方のみの操作しかできていない。	集じん機と工具の両方を操作してください。
	その他	周囲に強い電波を発する機器がある。	Wi-Fi 機器や電子レンジなどの電波を発する機器から離して操作してください。

症状	原因		対策
集じん機が動かない。	工具	ワイヤレスユニットが取り付けられていない、または取り付け方が間違っている。	ワイヤレスユニットを正しく取り付けてください。 ⇒ 62 ページ参照
		ワイヤレスユニットの端子や取り付け部分が汚れている。	ワイヤレスユニットの端子やスロットに付いたほこりや汚れを落として、取り付け直してください。
		工具の無線ボタンを押していない。	工具の無線ボタンを押して青点滅になってから、スイッチを入れてください。
	集じん機	集じん機のスイッチが「連動 (AUTO)」になっていない。	集じん機のスイッチを「連動 (AUTO)」にしてください。 ⇒ 64 ページ参照
		集じん機の機器登録が 10 台を超えたため、最も先に登録された機器が解除された。	再登録をしてください。 ・ 機器登録 ⇒ 66 ページ参照
		機器登録が全消去された。	再登録をしてください。 ・ 機器登録 ⇒ 66 ページ参照
	共通	集じん機、または工具の電源が入っていない。	集じん機、工具ともに電源を入れてください。
		工具と集じん機が離れすぎている。	工具と集じん機を近づけて操作してください (最大通信距離は約 10 m。周囲の環境によって変化します)。
		バッテリーの容量が少ない。	バッテリーを充電してください。
その他	周囲に強い電波を発する機器がある。	Wi-Fi 機器や電子レンジなどの電波を発する機器から離して操作してください。	
工具のスイッチまたは集じんボタンを操作しないときに、集じん機が動く。	集じん機	機器登録した、ほかの工具が集じん機と無線連動している。	・ 使用しない工具の無線連動を解除してください。⇒ 67 ページ参照 ・ 登録全消去を行い、必要な工具の機器登録を行ってください。 ・ 登録全消去 ⇒ 68 ページ参照 ・ 機器登録 ⇒ 66 ページ参照
登録全消去ができない。	工具	工具側を操作している。	登録全消去は集じん機のみで行えます。 ⇒ 68 ページ参照
	集じん機	スイッチが「連動 (AUTO)」になっていない。	集じん機のスイッチを「連動 (AUTO)」にしてください。 ⇒ 64 ページ参照
		操作手順の間違い。	無線ボタンを短く押してからやり直してください。⇒ 68 ページ参照

・ 上記の対策をお試しになっても解決しない場合は、故障が考えられます。お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

使用後の取り扱い

警告

点検、整備の際には必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを本製品に差し込んだまま行くと、事故の原因になります。

本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

レーザー発光部の清掃

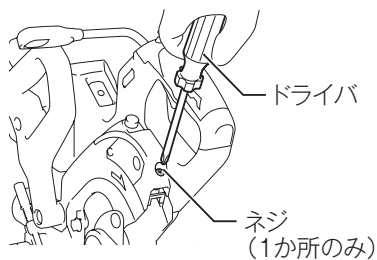
レーザー発光部のレンズに、切粉などが付いてレーザーラインが見えにくくなった場合は、レーザー発光部のレンズを取りはずし、柔らかい布に水または水で薄めた中性洗剤を含ませて軽く拭きとってください。

注

- ・ シンナー、ガソリンなどの揮発性の溶剤でレンズを拭かないでください。レンズが変形したり、くもりが生じ、レーザーラインが見えなくなります。

■ レーザー発光部のレンズの取りはずし方

1. ノコ刃を取りはずします（詳細は30ページ参照）。
2. 市販のドライバでネジを（1か所のみ）ゆるめます。



3. レーザー発光部のレンズを引き抜きます（抜けない場合はさらにネジをゆるめてから、引き抜いてください。ネジは完全にはずさないでください）。



本製品の持ち運び

⚠ 警告

本製品の持ち運びの際は、必ずスイッチを切りバッテリーを抜いてください。
 ・ バッテリーを差したまま行くと事故の原因になります。

⚠ 注意

ストッパピン（ハンドル固定用）の操作によって、モータ部が下死点で確実にロックされていることを確認してください。

・ ロックが甘いと不意にモータ部が上がり、けがの原因となります。

グリップ（ターンベース角度固定用）を操作し、ターンベースが固定されていることを確認してください。

・ 不意にターンベースが動き、けがの原因となります。

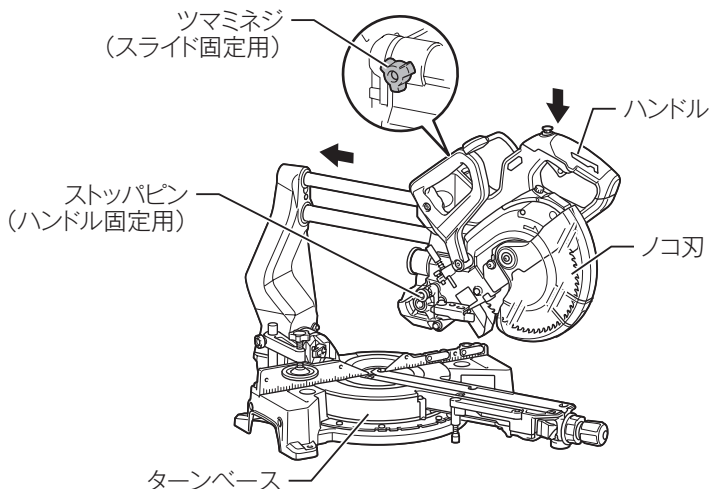
サブテーブルを収納して固定してください。

・ 不意にサブテーブルが動き、けがの原因となります。

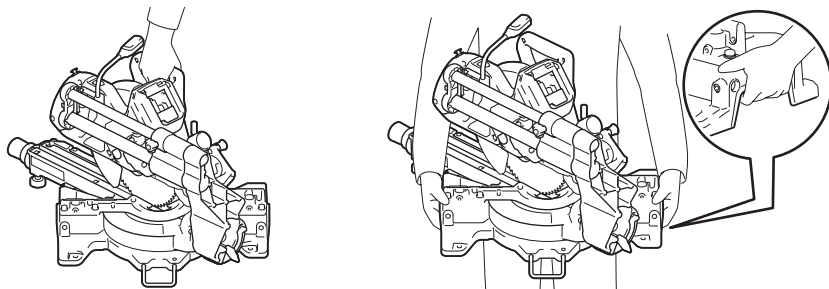
運搬時は各部のロックを十分に行ってください。

・ 不意に本製品が動き、けがの原因になります。

1. ノコ刃傾斜角度は0°、ターンベース角度は右57°、スライドは奥いっぱいまでの位置でツマミネジ（スライド固定用）を操作しスライド軸を固定します。
2. ハンドルを下限位置まで下げて、アーム部のストッパピン（ハンドル固定用）を操作し、本製品が上がらないように固定します。



3. 本製品のハンドルを持つか、本製品のベース両側を抱えて運びます。



点検

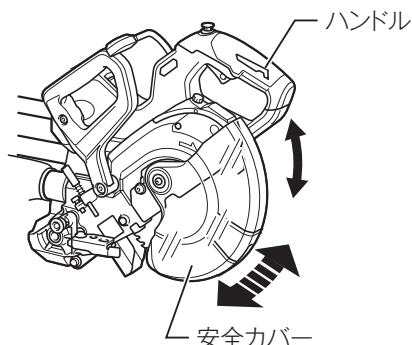
安全カバーの動作点検と整備

⚠ 警告

安全カバーを固定したり、開いたまま掃除しないでください。

- ・ けがの原因になります。

- ・ 安全カバーは、ハンドルを下げると自動的に上がり、切り終わってハンドルを上げると、元に戻ります。



- ・ 安全カバーの動作が不完全なまま使用したり、故意に任意の位置で固定して使用することは法令により禁止されています。けがなどの事故を防ぐため正常な状態で使用してください。動作が異常なときは速やかに修理に出してください。
- ・ 安全カバーに切粉などが付着してノコ刃先が見にくくなったときは湿った布で切粉などを拭きとってください。

調整

レーザーラインの位置調整

⚠ 警告

点検、整備の際は、必ずスイッチを切りバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを差したまま行くと事故の原因になります。

レーザーラインの位置調整は、バッテリーを差し込んで作業するため、スイッチの操作には十分注意してください。

- ・ 不意にスイッチの引金を引くとノコ刃が回転し、思わぬ事故の原因になります。

本製品にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スwitchを入れたまま、バッテリーを差し込むと事故の原因となります。

⚠ 注意

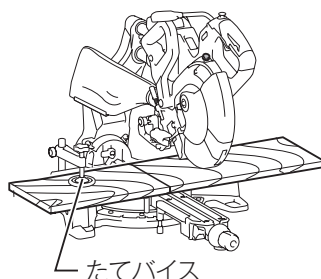
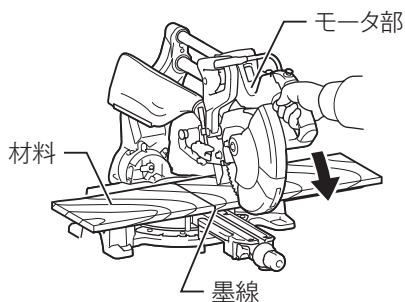
レーザー光（ビーム）を直接のぞきこまないでください。

- ・ レーザー光が目に直接当たると、目を傷める原因になります。

本製品に強い衝撃を加えないでください。

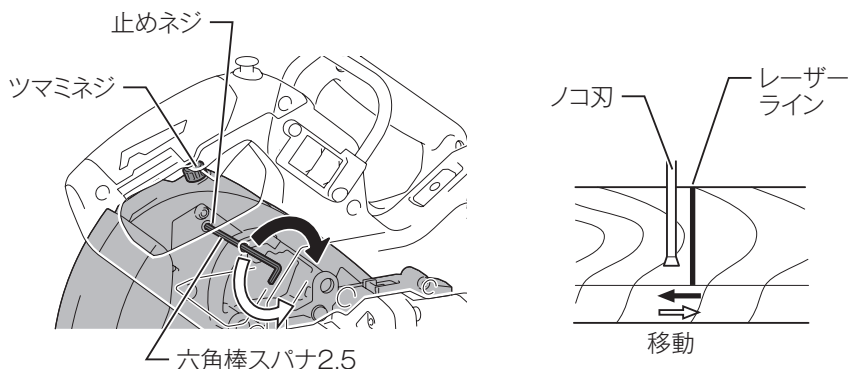
- ・ レーザーラインの位置が狂ったり、レーザー発光部の損傷や寿命低下の原因になります。

1. バッテリーが差し込まれていないことを確認します。
2. 材料を本製品に載せます。
このとき、たてバイスなどで固定はしないでください。
3. モーター部を下ろし、墨線と刃物の位置を確認します。
4. 墨線に対するお好みの切断位置を決めます。
5. 切断位置が決定したら、モーター部を元に戻し、決めた切断位置から材料が動かないように付属のたてバイスで固定します。
6. バッテリーを差し込み、レーザーのスイッチを入れます（詳細は48ページ参照）。

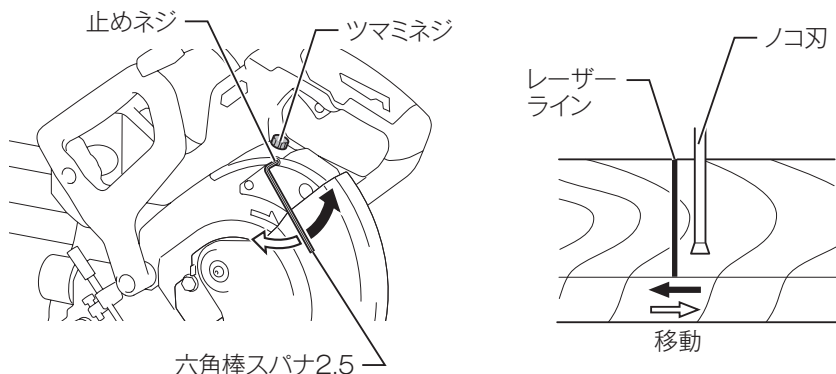


7. 2 か所の止めネジを、付属の六角棒スパナ 2.5 で回します。
ツمامネジのスライド範囲が変わり、レーザーラインとノコ刃側面の距離が調整できます。
- ・ 出荷時はノコ刃側面から 1 mm 以内に調整されています。
 - ・ ツمامネジをゆるめた後、それぞれ 2 か所の止めネジを反時計回りに回すとレーザーラインはノコ刃側面から遠ざかる方向に設定でき、時計回りに回すとノコ刃側面に近づく方向に設定できます。
 - ・ 48 ページの「レーザーの使い方」を参照してツمامネジを操作し、レーザーラインが墨線に合うように止めネジの位置を調整してください。

■ ノコ刃右側のレーザーラインを調整する場合



■ ノコ刃左側のレーザーラインを調整する場合



注

- ・ 定期的にレーザーラインの位置が狂っていないことを確認してください。
- ・ 不具合が生じた場合には、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。

⚠ 警告

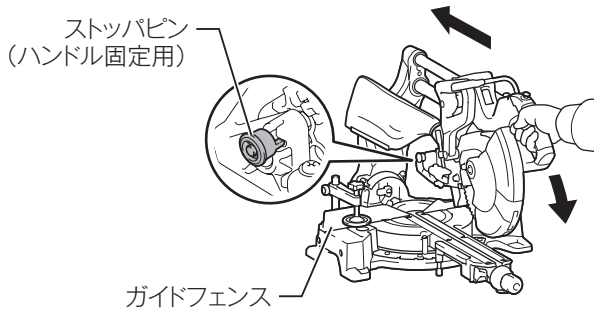
- 点検、整備の際は、必ずスイッチを切りバッテリーを抜いてください。
- ・ バッテリーを差したまま行くと事故の原因になります。

切断角度の調整

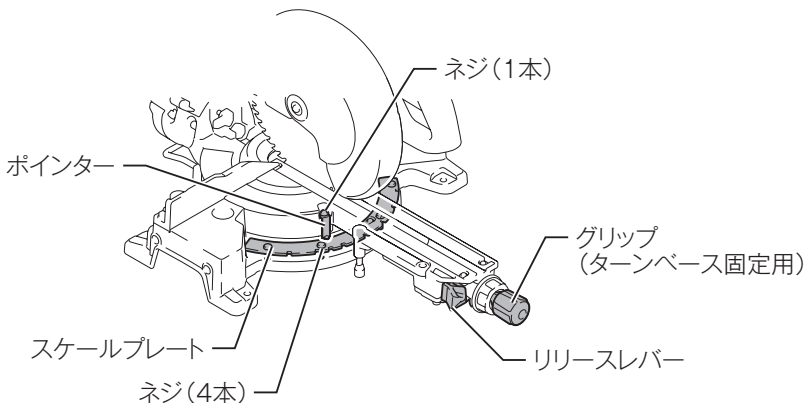
- ・ 切断角度は出荷時に調整してありますが、万一輸送中やご使用中に狂いが生じた場合は、次の手順で調整してください。

1. 角度切断時の角度調整

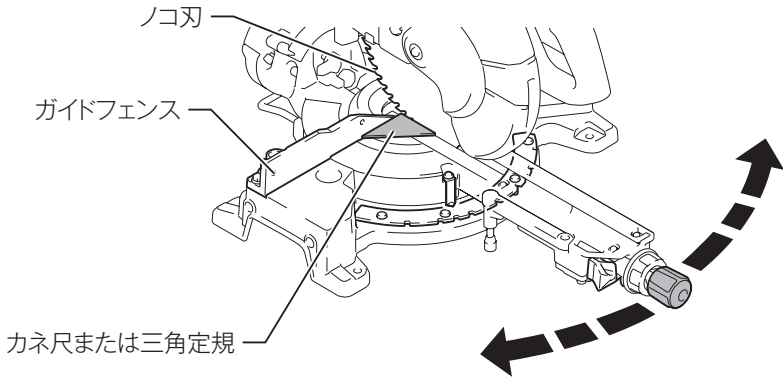
1. ハンドルを下げ、本製品固定用のストッパピン（ハンドル固定用）を操作して本製品を下限位置に固定します。
2. 本製品をガイドフェンス側へスライドさせます。



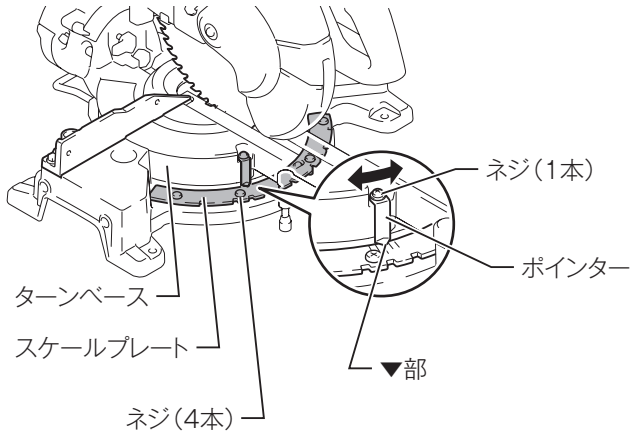
3. グリップ（ターンベース固定用）を反時計回りに回して、ターンベースのロックを解除します。
4. ポインターを固定しているネジ（1本）と、スケールプレートを固定しているネジ（4本）を、スケールプレートが動く程度にゆるめます。
5. リリースレバーを操作し、ターンベースの角度ストッパが0°で効いている状態にします。



6. ノコ刃側面とガイドフェンス面にカネ尺または三角定規を当て、ノコ刃とガイドフェンスが直角になるようにターンベースを回して調整します。



7. ターンベースが動かないように注意しながら、スケールプレートのネジ(4本)を締め付けます。
 8. ポインター先端の▼部と角度目盛の0°の位置を合わせ、ポインターのネジ(1本)を締め付けます。

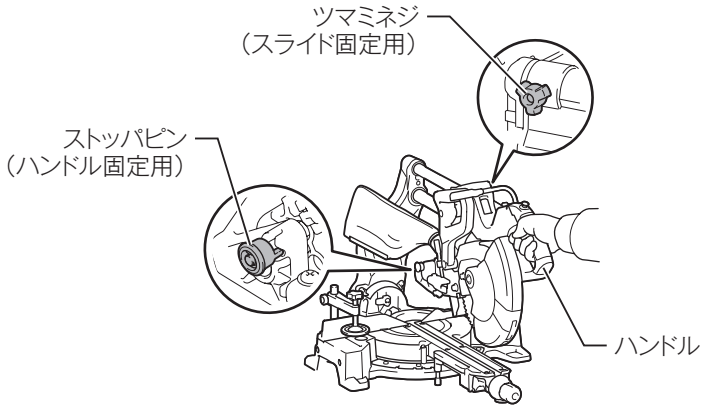


注

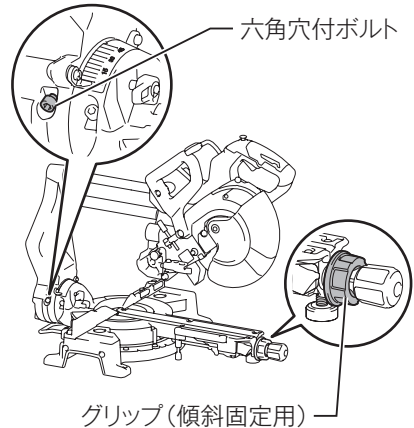
- チップは台金より少し突起しているためカネ尺、または三角定規をノコ刃に当てるときは、チップを避けて台金に直接当ててください。

2. 傾斜切断時の角度調整（直角位置）

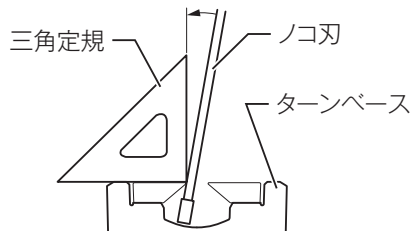
1. ストップピン（ハンドル固定用）とツマミネジ（スライド固定用）を操作して、ハンドルとスライドの固定を解除します。



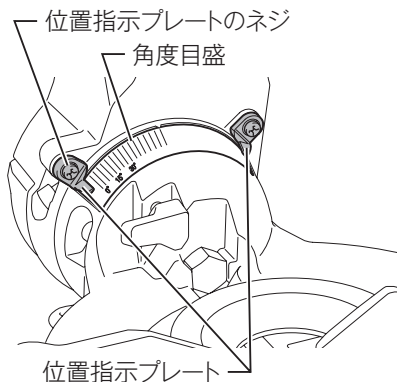
2. グリップ（ターンベース固定用）を反時計回りに回します。
3. 六角穴付ボルトを付属の六角棒スパナ5で反時計回りに2～3回転させ、本製品を右方向に傾けます。



4. ターンベース面とノコ刃の側面に三角定規を当て、六角穴付ボルトを時計回りに回してターンベースとノコ刃が直角になるように調整します。
5. グリップを時計回りに回して本製品を固定します。

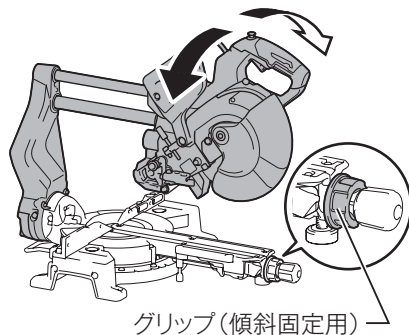


6. 左右2か所の位置指示プレートとアームの角度目盛の0°が一致しているか確認します。
位置指示プレートと角度目盛の0°が一致していないときは、位置指示プレートのネジをゆるめて位置指示プレートを角度目盛の0°に合わせます。

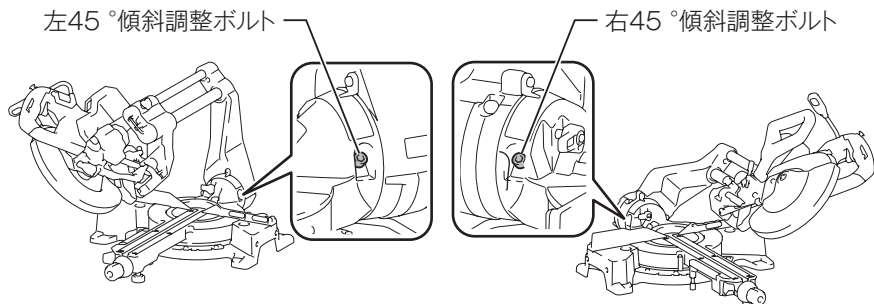


3. 傾斜切断時の角度調整（左右45°位置）

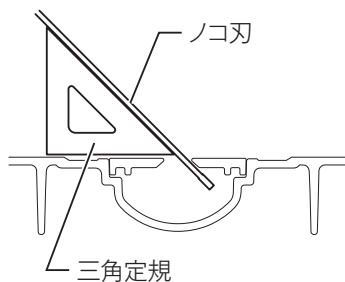
- ・ ターンベースとノコ刃とが直角になったときに、位置指示プレートがアームの角度目盛の0°に合っているか確認してください。
1. グリップ（傾斜固定用）をゆるめて、角度を確認したい側に本製品を完全に傾けます。



2. 左45°傾斜調整ボルトまたは右45°傾斜調整ボルトを付属の六角棒スパナ5で反時計回りに2～3回転させて、本製品を左または右にさらに傾けます。



3. ターンベースとノコ刃の側面に三角定規を当て、左 45° 傾斜調整ボルトまたは右 45° 傾斜調整ボルトを付属の六角棒スパナ 5 で時計回りに回して本製品を 45° の位置に合わせます。



故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリーが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 28 ページ参照。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらなくて、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリー、充電器を一緒にお持ちください。

881J30B8
IWT

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)